

令和3年9月27日

令和3年度 第2回クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議  
(概要)

日 時：令和3年9月27日（月）13:30-14:30

場 所：環境省第1会議室

出席者：警察庁、農林水産省、林野庁、環境省、秋田県

概 要：

連絡会議の概要は、以下のとおり。

- ①本連絡会議の目的の1つである「情報共有」を図るため、令和3年度8月末までのクマ類の出没や人身被害、農作物被害等の状況及び傾向等を共有し、今後の注意喚起等に関する意見交換を実施。
- ②クマ類による人身事故への対応と解析について、秋田県自然保護課の近藤氏から秋田県の事例を紹介いただき、意見交換を実施。現場検証や専門家の配置の重要性などについてお話があった。また、クマ類の分布拡大について、その一端は耕作放棄地や果実等の誘引物の放置も関係しており、こうした原因への対策も重要であることを確認。
- ③令和3年度に改訂を予定している「特定保護・管理計画作成のためのガイドライン（クマ類編）」について、改訂のポイントや骨子について共有し、当ガイドラインの周知を図っていくことを確認。

# 令和3年度 第2回クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議

## 議事次第

令和3年9月27日（月）13:30—14:30

環境省第1会議室（22階）

### 【議題】

- 1 クマ類の出没状況等について
- 2 人身事故への対応と解析について（秋田県の事例）
- 3 「特定保護・管理計画作成のためのガイドライン（クマ類編）」の改訂について
- 4 その他

### 【出席者】

警察庁生活安全局保安課	課長	小堀 龍一郎
	課長補佐	高橋 千洋
農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課	鳥獣対策室長	仙波 徹
	課長補佐（鳥獣被害対策技術普及班）	福田 智之
	鳥獣被害対策技術普及第1係長	須藤 友美
	鳥獣被害対策技術普及第2係	松井 理榮子
林野庁研究指導課	森林保護対策室室長	増田 義昭
	課長補佐（保護企画班）	宮崎 裕之
	森林鳥獣害対策指導官	堀井 一弘
	企画係長	酒井 香里
環境省自然環境局野生生物課	課長	則久 雅司
	鳥獣保護管理室 室長	東岡 礼治
	室長補佐	村上 靖典
	室長補佐	岩田 清人
	計画係長	福田 真
秋田県生活環境部自然保護課 鳥獣保護管理班		
ツキノワグマ被害対策支援センター	主任	近藤 麻実

**議題 1 : クマ類の出没状況等について**

資料 1           クマ類の出没状況等について

**議題 2 : 人身事故への対応と解析について（秋田県の事例）**

資料 2           情報の分析と事故原因の特定（秋田県の事例）

**議題 3 : 「特定保護・管理計画作成のためのガイドライン（クマ類編）」の改訂について**

資料 3           ガイドライン改訂骨子案

**議題 4 : その他**

<農林水産省提供資料>

資料 4           クマによる農作物被害状況

**参考資料**

- ・クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議 設置要綱
- ・(環境省通知)【事務連絡】令和 3 年度秋期におけるクマ類の出没に係る適切な対応について(依頼)
- ・(農水省通知)農作業中におけるクマの出没及び人身被害防止等に対する指導等の徹底について(依頼)
- ・(林野庁通知)【事務連絡】森林におけるクマの出没及び人身被害防止等に対する指導等の徹底について(依頼)
- ・令和 2,3 年度人身事故状況、都道府県別クマの出没数・人身被害数・捕獲数

## 近藤 麻実氏 プロフィール

所属：秋田県生活環境部 自然保護課 鳥獣保護管理班 主任  
ツキノワグマ被害対策支援センター

三重県出身。子どもの頃から好きだった野生動物への関わりを探る中で進学した岐阜大学で学生サークル「ツキノワグマ研究会」に入ったことから、野生のクマとの付き合いが始まる。クマによる被害に悩む地元住民との出会いがきっかけとなり、人の暮らしを守り、科学的に野生鳥獣を管理していく野生動物保護管理の分野へ。2011年に北海道立総合研究機構に就職、北海道でヒグマの研究や被害対策等に従事。2020年4月より縁あって秋田県へ。現在はツキノワグマを中心とした野生鳥獣の被害対策や市町村への対策指導、地域住民への普及啓発等を担当している。

2003年 岐阜大学農学部獣医学科

2009年 岐阜大学大学院連合獣医学研究課博士課程

2011年 北海道立総合研究機構

2020年 現職



## クマ類の出没状況等について

## 1. クマ出没状況・人身被害状況について

## (1) 年度別の比較

令和2(2020)年度は、比較が可能な記録が残る平成21(2009)年度以降、クマ出没件数、人身被害人数及び許可捕獲数は過去最多となった。

令和3(2021)年度は、出没件数、人身被害件数及び許可捕獲数とも昨年、一昨年度に比べると少ないペースで推移しているものの、クマに襲われ死亡された方が3名(いずれも北海道)いるなど、人身事故が増えている地域もある。

表1 平成21(2009)年度以降の出没件数・人身被害状況・許可捕獲数

(単位: 件、人)

年度	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021
出没 件数	4825 <3331>	18521 <6005>	7308 <4520>	11632 <7810>	9953 <6812>	16802 <8714>	10745 <7309>	18116 <11772>	12812 <10017>	12809 <10243>	18314 <10894>	20870 <11240>	8626
人身 被害	件数 52 <33>	145 <56>	70 <44>	75 <34>	46 <33>	116 <44>	52 <43>	101 <52>	100 <65>	51 <37>	140 <57>	143 <57>	45
	人数 63 (2)	150 (4)	81 (2)	77 (1)	56 (2)	121 (2)	56 (0)	105 (4)	108 (2)	53 (0)	157 (1)	158 (2)	49 (3)
許可 捕獲数	1717	4014	1800	3369	1859	4167	1950	3787	3952	3586	6285	7122	2531

- ※1 令和3(2021)年度は8月末までの暫定値
- ※2 出没件数はツキノワグマのみの集計
- ※3 出没件数及び人身被害件数の<>は8月末までの数値
- ※4 人身被害人数の( )は死亡された方で内数

## (2) 直近5年における月別での比較

## 1) 出没件数

直近5年での出没件数を比較すると、令和2(2020)年度は8~11月にかけて最も多くの出没件数を記録し、特に10月に出没件数が大幅に増加した。

令和3年度は6月をピークに減少傾向にはあるが、昨年は10~11月に多く出没しているため、引き続き注意が必要。

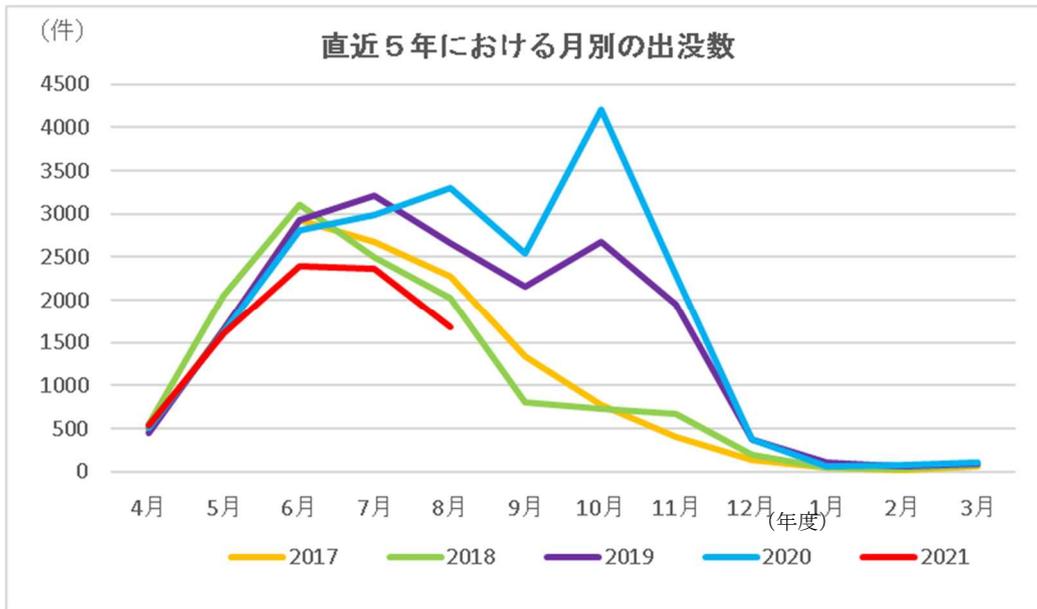


図1 月ごとのツキノワグマの出没件数の推移

## 2) 人身被害件数

直近5年での人身被害件数を比較すると、令和元（2019）年度と令和2（2020）年度は10月に多くの人身被害が発生した。

令和3年度は比較的少ないペースで推移してきているが、例年は秋期に人身被害が増える傾向にあり、特にここ2年ほど9～10月に人身被害が急増したことから、引き続き注意が必要。

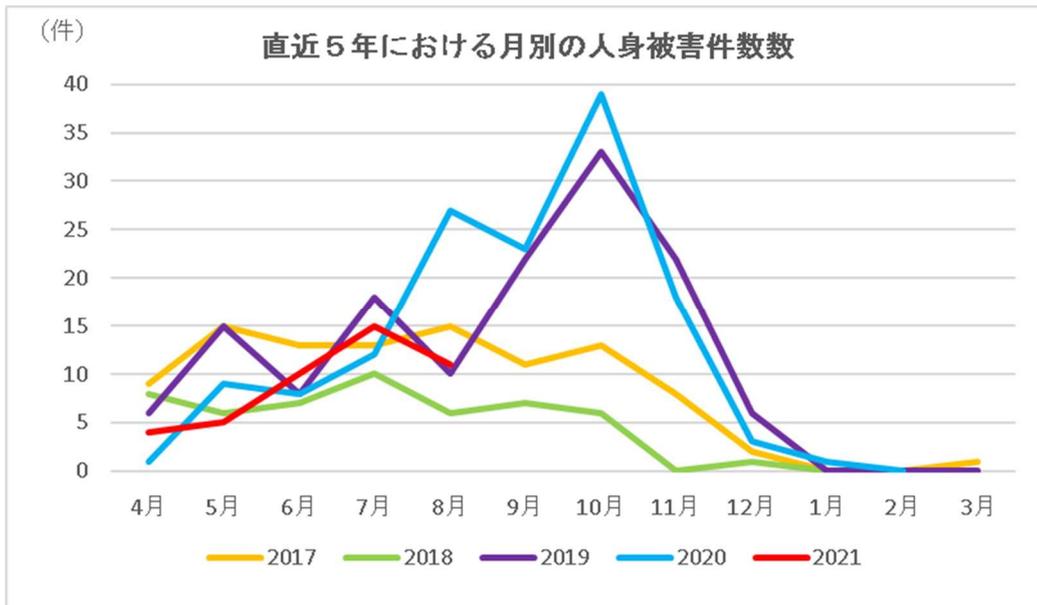


図2 月ごとのクマ類による人身被害件数数の推移

表2 直近5年における都道府県別クマ類による人身被害

R01、R02と同じ発生ペース又は増加  
 R01、R02より発生ペースが減少傾向

(単位:件、人)

都道府県	H29年度			H30年度			R01年度			R02年度			R03年度 (8月末暫定値)		
	件数	被害人数	死亡者人数	件数	被害人数	死亡者人数									
北海道	4	4	1	3	3	0	3	3	0	2	2	0	7	11	3
青森	8	9	0	3	3	0	5	5	0	5	5	0	0	0	0
岩手	16	17	0	12	12	0	15	16	0	27	29	0	10	10	0
宮城	3	3	0	1	1	0	6	6	1	1	1	0	1	1	0
秋田	19	20	1	7	7	0	14	16	0	8	9	1	3	3	0
山形	4	4	0	1	1	0	4	4	0	5	5	0	0	0	0
福島	8	9	0	1	1	0	9	10	0	9	9	0	3	3	0
茨城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	4	4	0	0	0	0	2	2	0	3	3	0	0	0	0
群馬	2	2	0	2	2	0	2	2	0	6	7	0	5	5	0
埼玉	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京	1	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
神奈川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟	5	5	0	6	6	0	16	20	0	17	21	1	1	1	0
富山	4	4	0	2	2	0	13	20	0	5	6	0	1	1	0
石川	2	2	0	2	2	0	6	6	0	10	15	0	0	0	0
福井	3	4	0	0	0	0	9	9	0	12	12	0	1	1	0
山梨	4	4	0	2	2	0	2	2	0	4	4	0	0	0	0
長野	6	7	0	5	5	0	8	8	0	12	12	0	8	8	0
岐阜	3	5	0	0	0	0	13	14	0	2	2	0	1	1	0
静岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
愛知	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
三重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0
滋賀	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
大阪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
兵庫	2	2	0	0	0	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0
奈良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
和歌山	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	0	0	0	0	0	0	2	3	0	2	2	0	0	0	0
島根	0	0	0	1	3	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0
岡山	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	1	1	0
山口	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0
計	100	108	2	51	53	0	140	157	1	143	158	2	45	49	3

※1. 数値は、都道府県から聞き取った速報値。

2. 徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各県については、近年クマの目撃・捕獲実績がないため表示していない。

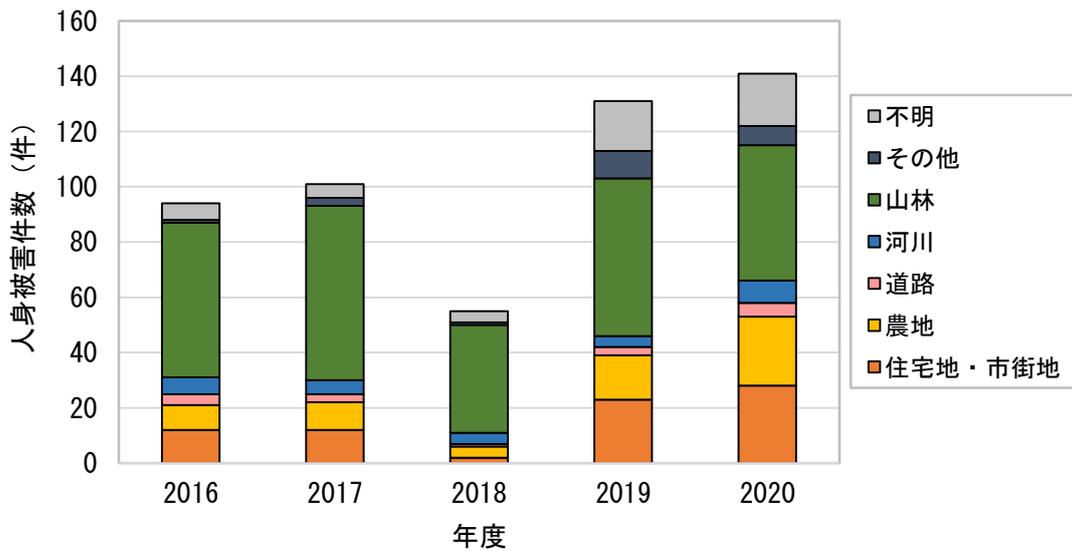


図3 クマ類による人身被害発生場所の推移

環境省資料（2016～2020年度）より作成

直近5年での人身被害の発生場所を比較すると、住宅地・市街地や農地での人身被害の割合が多くなっている。人身被害の発生場所は人の生活圏で増加する傾向にあり、農地や市街地周辺における生ゴミや放置された農作物等のクマ類の誘因物の管理・除去を徹底するなどの対策を進めていくことが必要といえる。

### 3) 捕獲数（許可捕獲）

直近5年での許可捕獲数を比較すると、例年は8月に捕獲数が増える傾向にある。また、令和元(2019)年度と令和2(2020)年度は捕獲数が大幅に増加した。

令和3(2021)年度は、例年に比べると8月も少ない捕獲数となっている。しかし、昨年は10～11月に多く出没し、それに伴い捕獲数が増加したことから、今後の推移を見ていく必要がある。

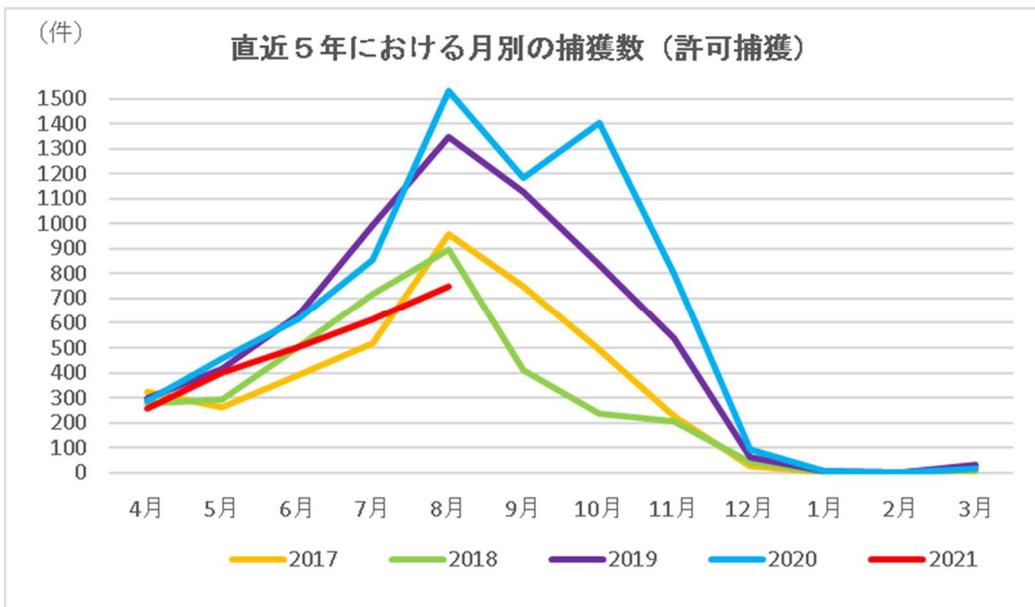


図4 月ごとのクマ類の捕獲数（許可捕獲）の推移



#### 4 クマ類の生息分布状況

「平成 30 年度中大型哺乳類分布調査報告書 クマ類（ヒグマ、ツキノワグマ）・カモシカ」（環境省自然環境局生物多様性センター 2019）

環境省では、平成 22 年度（2010 年度）から平成 29 年度（2017 年度）のヒグマ、ツキノワグマの生息分布情報を対象とし、国や都道府県により実施された生息分布情報を含む調査の結果や、市町村アンケート等から収集した情報を集約し、5 kmメッシュ単位で整理した。

以下、クマ類の生息分布状況の傾向を把握するため、平成 15 年度（2003 年度）に公表した第 6 回自然環境保全基礎調査（以下「第 6 回調査」という）の調査結果と比較した。

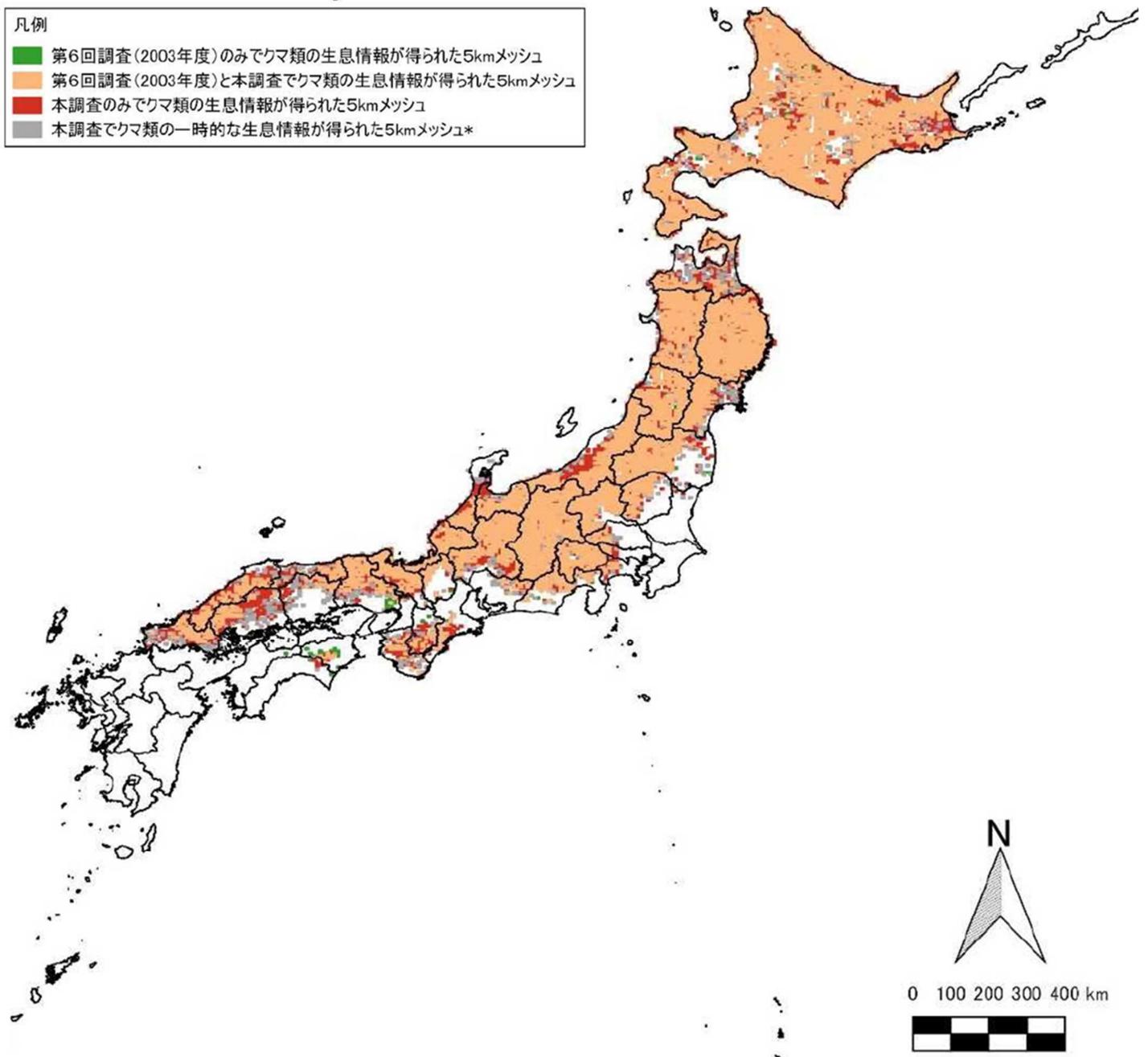


図5 クマ類の生息情報が得られた 5km メッシュ（第 6 回調査との比較）

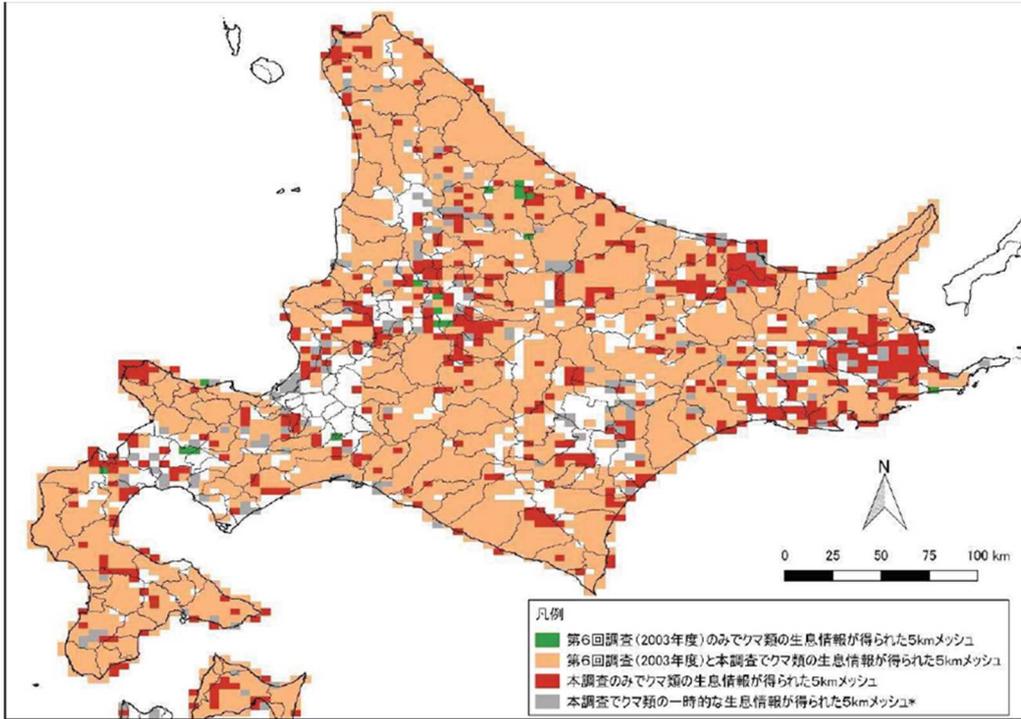


図6 北海道の生息情報

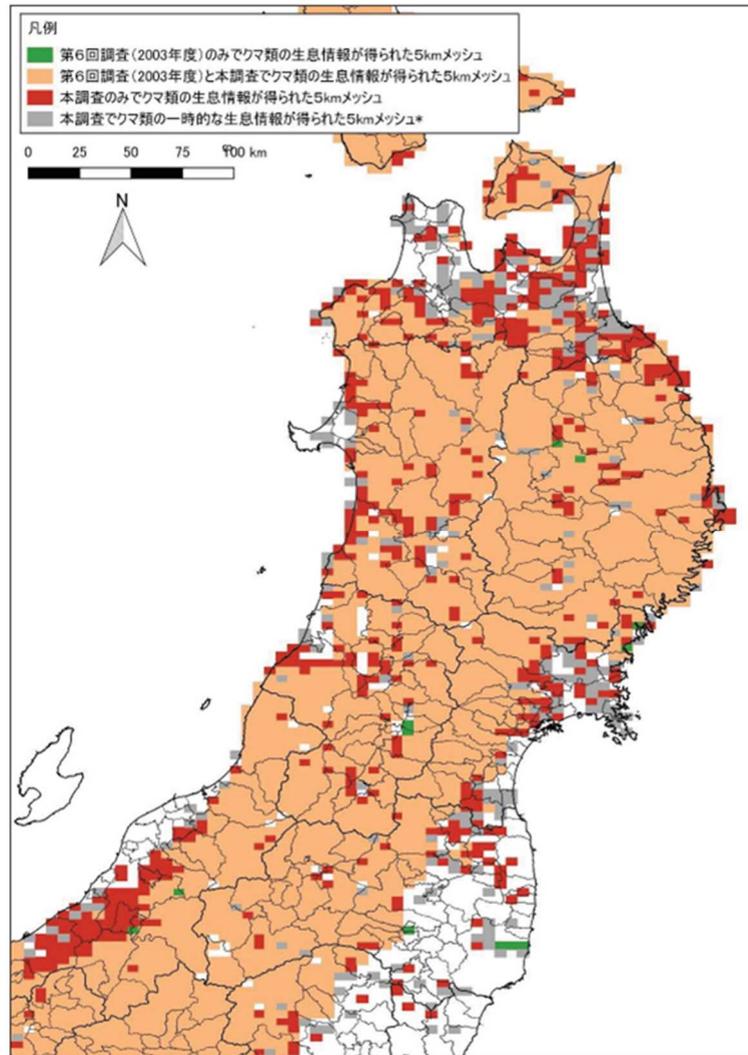


図7 東北地方の生息情報

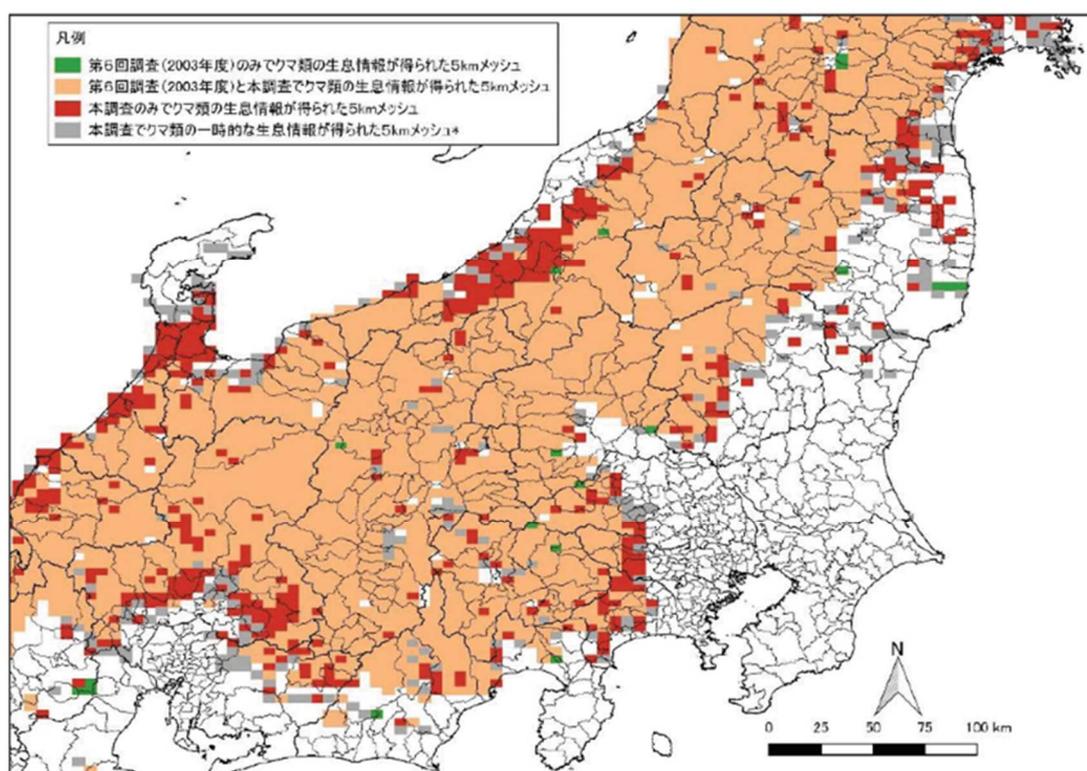


図8 関東地方の生息情報

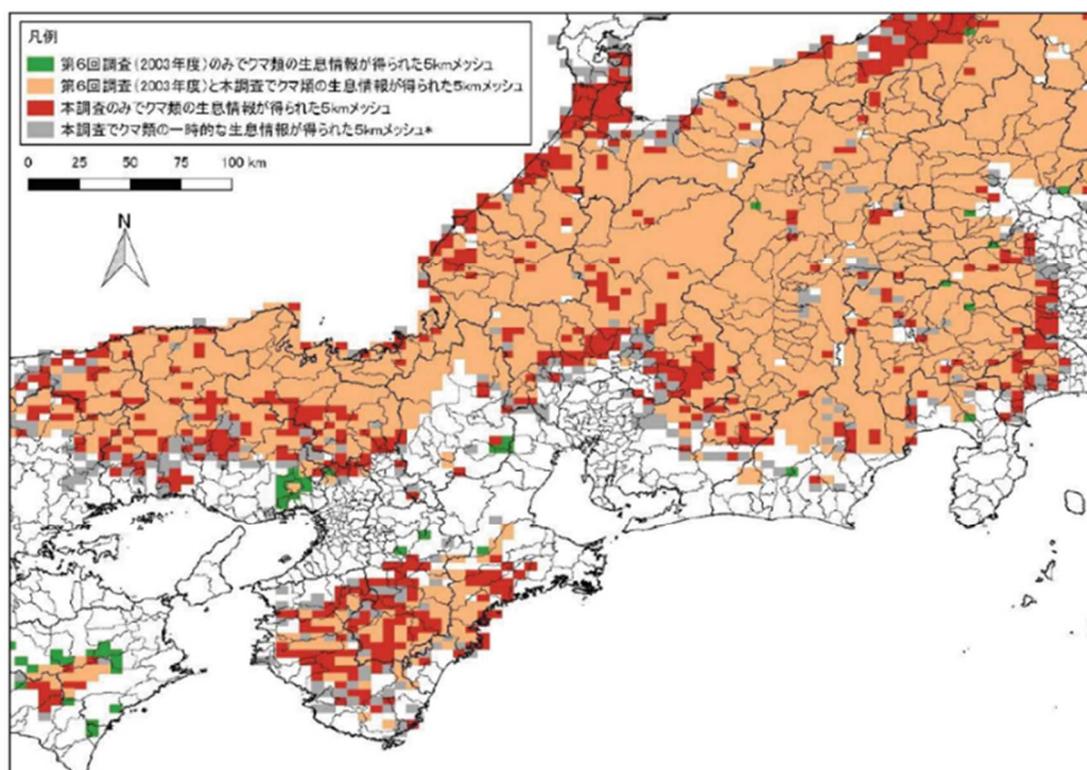


図9 中部・近畿地方の生息情報

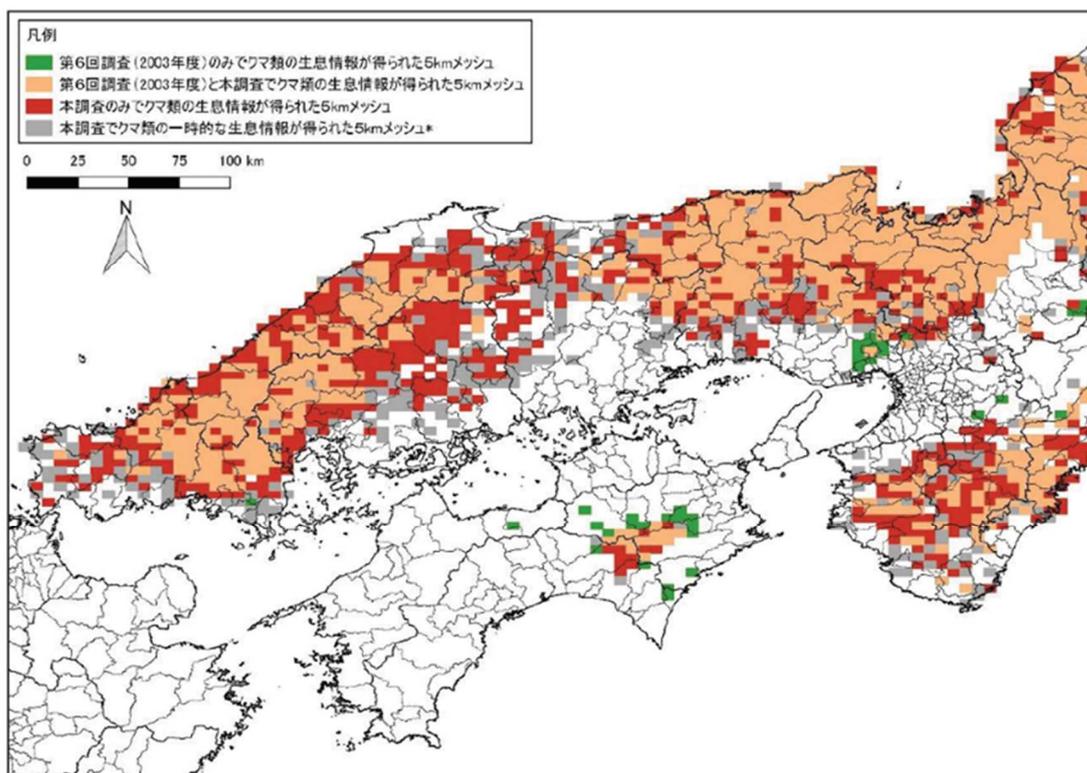


図10 中国・四国地方の生息情報



# クマ類による人身事故防止に向けて： 情報収集・分析の重要性

- 1 秋田県自然保護課 近藤麻実

クマによる事故に遭うのは  
運が悪いから

クマによる事故は  
避けようがない



「クマ=人と見るや襲ってくるモンスター」  
**ではない！！<sup>3</sup>！！**

原因・理由

結果（事故）

- ✓ なぜ事故が起きたのか？
- ✓ どんな事故だったのか？

- 判断できる材料を集めなければ  
**適切な対策をとれない！**
- 材料を集めるべきは**行政**

# ■なぜ行政か

- ①住民の生活を守る役割
- ②野生動物を管理する役割
- ③事故情報は個人情報だらけ  
= 第三者機関には情報収集困難

 都道府県・市町村・警察が連携し情報収集をする必要性

人身事故発生時の情報収集・分析は  
重要なモニタリングのひとつという認識を！

- 5 -

## ■情報の有無で対応が異なった事例

年度	仙北市玉川地区	仙北市駒ヶ岳	
2017	事故		情報収集なし
2018	事故→入林規制		
2019	入林規制2年目		
2020	3年目	事故→入林規制せず	情報収集開始
2021	4年目		
対応	情報なし ⇒対応硬直化 過剰（かどうかも判断不可）な対応継続	現場検証を元に対策 会議へ情報提供 ⇒根拠に基づく判断 冷静な対応	

- 6 -

# ■集めるべき情報

## ①加害個体の構成（親子/単独）・行動

→クマの自己防衛的な攻撃か積極的な攻撃かの判断、  
事故の発生理由判断、再発の可能性判断

## ②事故発生前の出没情報

→住民にクマ出没の認識があったか、  
有害性の高い個体がいなかったか

## ③被害者に関する情報

→対策の有無（事故の発生理由判断）、  
今後の事故防止に向けた情報の蓄積 など

（ポイントが分かれば「専門家」でなくても情報収集は可能）

# ■詳しくは…

日本クマネットワーク

## 「人身事故情報のとりまとめに関する報告書」

ISBN 4-9903230-3-3

「人里に出没するクマ対策の普及啓発および地域支援事業」  
人身事故情報のとりまとめに関する報告書

日本クマネットワーク 人身事故報告書



日本クマネットワーク  
2011年3月



## ■ 課題は何か

### ✓ 認識不足

情報収集や分析の重要性・必要性が認識されていない

### ✓ 知識不足

どのような情報を収集すれば良いか分からない

### ✓ 人材不足

情報を収集できる人がいない  
情報を収集しても何をどのように判断すれば良いか分かる人がいない

## 秋田県の事例

# ■ 事故の検証結果

## 2020・2021年

事故件数：11件

現場検証のみ : 1件

聞き取りのみ : 1件

現場検証＋聞き取り : 6件

未検証・予定なし : 3件

		事故原因				
		防衛目的 (自己)	防衛目的 (子グマ)	好奇心	積極的	不明
エリア	コア生息地		1			
	緩衝地帯	3	1			
	排除地域	2				1
		- 11 -				

## ■ 事例① 緩衝地帯×防衛目的（自己）

### 事故の概要

日時：2021年4月20日 12:00頃

場所：集落の裏山

被害者：成人男性（70代）

### 第一報

- ・ 山菜採りで入山した男性2名のうち、1名が襲われケガ。
- ・ 被害者は鈴を持っていなかったが、同行者は鈴を身につけていた。
- ・ 現場は見通しが良い。



## ■ 事例① 緩衝地帯×防衛目的（自己）

### ヒアリングと現場検証で明らかになったこと

- ✓ 柴が密生→見通しは良くない
- ✓ 被害者と同行者は数十メートル離れて山菜採りをしていた
- ✓ 山菜採りを終えて合流しようと、被害者が同行者の方へ向かう途中でクマに襲われた  
⇒クマは被害者と同行者に挟まれる位置にいた
- ✓ クマの攻撃は10秒くらい。攻撃後、クマは走って逃げた。
- ✓ 春早いため、被害者と同行者はクマに対し油断していた。

## ■ 事例① 緩衝地帯×防衛目的（自己）

### まとめ

- ✓ 事故の発生原因  
⇒被害者から接近を受けたクマの自己防衛
- ✓ 現場検証・聞き取りをしたおかげで  
「2人で行動していたのに・鈴を持っていたのに」  
→「何をしても無駄なのでは？」に対する説明が可能に。
- ✓ 集落が近くても、春早い時期でも、そこが山林である以上  
クマに対する注意を怠らないことが重要  
⇒説得力を持った注意喚起へ

- 15 -

## ■ 事例② 排除地帯×防衛目的（自己）

### 事故の概要

日時：2020年8月29日 17:30頃

場所：集落内の道路上

被害者：男子高校生

### 第一報

- ・男子高校生がクマにひっかかれケガ。
- ・被害者が自転車で下校中、前方に黒い動物を発見。犬と思いきのまま進んでいたところ、クマが被害者へ向かってきて、すれ違いざまにひっかかれた
- ・被害者はひっかかれた勢いで転倒したが自力で帰宅。

- 16 -



- 17 -

## ■ 事例② 排除地帯×防衛目的（自己）

### ヒアリングと現場検証で明らかになったこと

- ✓ クマが出てきた箇所は両側が藪で薄暗い
- ✓ 被害者はいつもスピーカーで大音量の音楽を鳴らしながら自転車に乗っていたが、事故当日はスピーカーのバッテリーが切れていた
- ✓ 被害者は過去に大きなクマを見たことがある。今回のクマは比較的小型でほっそりした体型。
- ✓ 歩いてきたクマは、途中で方向を変えた。
- ✓ 被害者は自転車を飛ばしており、「黒い動物」が路上に出てからすれ違うまで数秒だった。

- 18 -

## ■ 事例② 排除地帯×防衛目的（自己）

### まとめ

- ✓ なぜクマがそこ（排除地域）にいたのか？
  - ⇒不明。若いクマが緑地帯を伝って移動してきた？
  - 付近の果樹園は電気柵設置済みで被害なし。
  - ▲クルミの木が多数（クルミ糞は確認されていない）
- ✓ 事故の発生原因
  - ⇒被害者から接近を受けたクマの自己防衛

- 19 -

## ■ 事例② 排除地帯×防衛目的（自己）

### まとめ

- ✓ 出前講座で話す内容に以下を追加
  - ・夏のクマはスラッと足が長く見える（個体もいる）
  - ・野良犬はほぼいない
- ✓ 過去にもクマが出没したことのある集落であり、クマが「来ようと思えば来れる」場所。
  - 住民へ改めて周知
    - ・自転車とばさない
    - ・見通しの悪いところでは音を立てて
  - 集落内の見通しを良くし、たとえクマが来たとしても**バッタリ遭遇しづらい環境づくり**へ
  - 少しでも**クマが来る理由になりそうなものを排除**

- 20 -





## 「特定保護・管理計画作成のためのガイドライン（クマ類編）」の改訂について

鳥獣保護管理法に基づき、著しく増加又は減少した鳥獣の地域個体群について、人と鳥獣との様々な軋轢を軽減・解消し、長期的な観点から当該鳥獣の保護管理を図るために都道府県は第一種特定鳥獣保護計画又は第二種特定鳥獣管理計画を定めることができることとされており、環境省では同計画の策定を支援するためのガイドラインを作成している。

クマ類にかかるガイドラインについては、前回は平成28年度に作成しているが、最近のクマ類を巡る情勢を踏まえ、今年度ガイドラインを改訂するものである。

### 1. ガイドライン改訂に当たっての方針

- ・市街地出没及び錯誤捕獲について、各都道府県における状況を踏まえ、記載内容を充実する。
- ・その他、今後の保護・管理の検討資料として、各都道府県における生息状況や個体数推定調査に関する状況等を把握する。

### 2. ガイドライン改訂のポイント

#### (1) クマ類の出没、クマ類による人身被害の発生に対する対応

- 出没対応に関する関係機関との事前調整の考え方  
クマ類が市街地等に出没した場合は、都道府県の担当職員のみでなく、市町村、警察などが連携して情報管理（情報伝達、発信の一元化）や現場対応（人の誘導、捕獲等の対応）に当たる必要がある。それらについての連絡体制（休日等の連絡体制を含む）、役割分担等について関係機関で事前調整の必要性について整理する。
- 市街地等への出没の未然防止に関する考え方  
市街地等へのクマ類の出没の未然防止をどのように図るかについて、緩衝帯や侵入防止柵の整備等の方法なども含め整理する。
- 鳥獣保護管理法による銃器使用禁止区域における対応の考え方  
住居集合地域等における銃器の使用は鳥獣保護管理法で使用が規制されており、それらの地域で出没したクマ類への捕獲対応について、警察との事前協議・調整の必要性、実際に対応した事例などを整理する。
- 収集する情報、情報の活用方法についての考え方  
目撃や痕跡など収集する情報の内容（月日、時間、場所、出没時の様子など）、収集した情報の整理・発信の方法、被害防止への活用について、考え方を整理する。
- 

#### (2) クマ類の捕獲に対する対応

- ニホンジカ、イノシシ管理計画との情報共有に関する考え方  
錯誤捕獲の原因となるニホンジカ、イノシシの捕獲事業と錯誤捕獲情報の共有に関する考え方を整理する。

- 錯誤捕獲個体に関する情報収集の考え方  
錯誤捕獲された個体に関して収集すべき情報を整理するとともに、錯誤捕獲データの分析を行っている事例を紹介しつつ、情報の解析に関する考え方を整理する。
- 捕獲個体のデータ解析の考え方  
個体群の動向を把握するために収集すべき捕獲個体のデータ（性別、年齢、外部計測値など）及びそれらの解析方法について、事例を踏まえ考え方を整理する。
- 錯誤捕獲発生時の対応に関する考え方  
錯誤捕獲が発生した際の対応、事前の体制整備の考え方について整理する。

### （3）特定計画の評価

- 特定計画を評価するに当たっては、以下の階層に基づき考え方を整理する。
  - ①特定計画を作成する目的を整理
  - ②目的達成に向けて個体群管理・生息環境管理・被害防除対策に関する保護又は管理の目標を設定
  - ③保護又は管理のそれぞれの目標に対応する施策を定め、施策毎に目標を設定
  - ④施策の目標が達成できたか、その上で保護又は管理の目標が達成できたか、評価指標を用いて評価
  - ⑤保護又は管理の目標を達成したことが特定計画の目的を満たしているか評価
- 特定計画の進捗に応じた評価に基づき、計画期間内における計画の見直しに関する考え方を整理する。

### 3. 今後のスケジュール

9～10月	都道府県へアンケート調査
11月中	ガイドライン改訂素案作成
11/15	有識者ヒアリング（非公開）
12～1月	パブリックコメント
1月又は2月	保護管理検討会（公開）
2月	ガイドライン改訂

(参考) ガイドラインの構成案

現行ガイドラインの構成	改訂ガイドラインの構成案
<p>I. クマ類の保護・管理の現状と課題</p> <p>1.クマ類の特定鳥獣保護管理計画策定状況</p> <p>2.クマ類の現状</p> <p>(1) 生息状況</p> <p>(2) 捕獲動向</p> <p>(3) 被害状況</p> <p>3.ガイドライン改訂にあたっての課題</p> <p>(1) ガイドライン改訂の背景</p> <p>(2) ガイドライン改訂の目的</p>	<p>I. クマ類の保護・管理の現状と課題</p> <p>1.クマ類の特定鳥獣保護管理計画策定状況</p> <p>2.クマ類の現状</p> <p>(1) 生息状況</p> <p>(2) 捕獲動向</p> <p>(3) 被害状況</p> <p>3.ガイドライン改訂にあたっての課題</p> <p>(1) ガイドライン改訂の背景</p> <p>(2) ガイドライン改訂の目的</p>
<p>II.クマ類の保護・管理の基本事項</p> <p>1.クマ類の保護・管理の目的</p> <p>2.クマ類の保護・管理の基本的な考え方</p> <p>(1) 保護・管理の単位</p> <p>(2) 個体数水準をもとにした個体群管理</p>	<p>II.クマ類の保護・管理の基本事項</p> <p>1.クマ類の保護・管理の目的</p> <p>2.クマ類の保護・管理の基本的な考え方</p> <p>(1) 保護・管理の単位</p> <p>(2) 個体数水準をもとにした個体群管理</p>
<p>III.特定計画（保護・管理）の作成と実施</p> <p>1.計画の名称と考え方</p> <p>2.計画策定の目的及び背景（基本的な考え方）</p> <p>(1) 生息環境管理</p> <p>(2) 個体群管理</p> <p>(3) 出没抑制・被害防除対策</p> <p>3.保護・管理すべき鳥獣の種類</p> <p>4.計画の期間</p> <p>5.保護・管理が行われる区域（対象地域）</p> <p>6.現状の整理</p> <p>7.第一種特定鳥獣の保護の目標／第二種特定鳥獣の管理の目標及び評価指標の設定</p> <p>8.第一種特定鳥獣の捕獲に関する事項／第二種</p>	<p>III.特定計画（保護・管理）の作成と実施</p> <p>1.計画の名称と考え方</p> <p><b>2. 特定計画の記載項目</b></p> <p><u>→特定計画で基本的に記載する各項目（背景及び目的、鳥獣の種類、期間、対象地域、現状、評価、目標、施策等）について他種のガイドラインと合わせる内容で記載する。</u></p> <p>3.計画策定の目的及び背景（基本的な考え方）</p> <p>(1) 生息環境管理</p> <p>(2) 個体群管理</p> <p>(3) 出没抑制・被害防除対策</p> <p>4.保護・管理すべき鳥獣の種類</p> <p>5.計画の期間</p> <p>6.保護・管理が行われる区域（対象地域）</p> <p>7.現状の整理</p> <p><b>8. 特定計画の評価と改善</b></p> <p><u>→「特定計画の評価の考え方」で検討・確定した内容を中心に記載する。</u></p> <p>9.第一種特定鳥獣の保護の目標／第二種特定鳥獣の管理の目標及び評価指標の設定</p> <p>10.第一種特定鳥獣の捕獲に関する事項／第二</p>

<p>特定鳥獣の数の調整に関する事項</p> <p>9.生息地の保護・整備に関する事項及び被害防除・出没抑制対策</p> <p>10.その他保護・管理のために必要な事項</p> <p>(1) 人材の育成及び配置と実施体制の構築</p> <p>(2) 普及啓発</p> <p>(3) モニタリング</p>	<p>種特定鳥獣の数の調整に関する事項</p> <p>11.生息地の保護・整備に関する事項及び被害防除・出没抑制対策</p> <p>12.その他保護・管理のために必要な事項</p> <p>(1) 人材の育成及び配置と実施体制の構築</p> <p>(2) 普及啓発</p> <p>(3) モニタリング</p> <p><b>(4) ゾーニング管理</b></p> <p><b>→「その他の事項」で検討・確定した内容を中心に情報更新を図る。</b></p>
<p>IV.クマ類の保護・管理を適切に実行していくための施策及び方法</p> <p>1.ゾーニング管理の推進</p> <p>(1) ゾーニング管理の必要性及び留意すべき事項</p> <p>(2) 各ゾーンの定義</p> <p>(3) ゾーニング管理のメリット</p> <p>(4) ゾーンごとの対応</p> <p>2.広域的な保護・管理の推進</p> <p>(1) 広域的な保護・管理の必要性</p> <p>(2) 保護管理ユニットをベースとした広域的な保護・管理推進のためのメリット</p> <p>(3) 個体数水準に応じた広域的な保護・管理の考え方</p> <p>3.モニタリング及び施策へのフィードバック</p> <p>(1) 順応的管理におけるモニタリングの必要性</p> <p>(2) 評価指標の設定</p> <p>(3) 個体群のモニタリング方法</p> <p>(4) 問題個体及び人間活動域周辺に生息する個体のモニタリング</p>	<p>IV.クマ類の保護・管理を適切に実行していくための施策及び方法</p> <p>1.ゾーニング管理の推進</p> <p>(1) ゾーニング管理の必要性及び留意すべき事項</p> <p>(2) 各ゾーンの定義</p> <p>(3) ゾーニング管理のメリット</p> <p>(4) ゾーンごとの対応</p> <p>2.広域的な保護・管理の推進</p> <p>(1) 広域的な保護・管理の必要性</p> <p>(2) 保護管理ユニットをベースとした広域的な保護・管理推進のためのメリット</p> <p>(3) 個体数水準に応じた広域的な保護・管理の考え方</p> <p>3.モニタリング及び施策へのフィードバック</p> <p>(1) 順応的管理におけるモニタリングの必要性</p> <p>(2) 評価指標の設定</p> <p>(3) 個体群のモニタリング方法</p> <p>(4) 問題個体及び人間活動域周辺に生息する個体のモニタリング</p>
<p>V.資料編</p>	<p>V.資料編</p>
<p>VI.参考文献・参考資料</p>	<p>VI.参考文献・参考資料</p>

※赤字は、項目を新たに追加する（新たな検討項目）箇所

青字は、情報の更新を行う箇所

クマによる農作物被害状況

年度	被害面積 (千ha)	被害量 (千t)	被害金額 (百万円)
H11	1.0	11.6	489
H12	0.9	8.9	1,055
H13	1.1	14.1	464
H14	1.1	12.2	308
H15	1.1	12.0	321
H16	2.3	10.8	410
H17	3.2	12.8	310
H18	2.0	19.6	764
H19	1.2	12.6	337
H20	1.5	14.0	363
H21	0.8	16.4	336
H22	0.9	19.8	528
H23	0.9	15.8	337
H24	1.0	15.7	388
H25	0.7	10.3	274
H26	0.9	15.8	391
H27	1.0	16.8	300
H28	0.8	19.9	387
H29	0.8	22.1	389
H30	0.7	22.1	383
R元	0.8	20.1	404

(注)都道府県の報告による(都道府県は、市町村からの報告を基に把握を行っている)。

## クマによる農作物被害状況(作物別)

### 被害面積

(単位:ha)

年度	イネ	ムギ類	マメ類	雑穀	果樹	飼料作物	野菜	いも類	工芸作物	その他	合計
H27	18	26	24	4	85	498	114	4	258	4	1,036
H28	28	54	3	9	95	378	87	25	83	2	764
H29	33	31	32	10	103	480	73	4	36	0	803
H30	23	31	13	10	82	461	60	7	57	1	744
R元	20	49	13	35	91	478	63	6	65	1	822

### 被害量

(単位:t)

年度	イネ	ムギ類	マメ類	雑穀	果樹	飼料作物	野菜	いも類	工芸作物	その他	合計
H27	38	136	12	3	237	13,333	483	21	2,525	7	16,795
H28	55	227	8	9	341	15,854	566	85	2,774	2	19,921
H29	67	204	43	11	330	18,646	509	19	2,280	1	22,109
H30	44	279	45	16	324	18,262	475	53	2,619	1	22,119
R元	85	313	17	36	335	15,840	629	45	2,751	0	20,053

### 被害金額

(単位:万円)

年度	イネ	ムギ類	マメ類	雑穀	果樹	飼料作物	野菜	いも類	工芸作物	その他	合計
H27	779	693	144	87	6,601	12,259	5,494	170	2,853	898	29,978
H28	1,167	1,002	145	170	9,626	15,396	6,853	654	3,182	548	38,742
H29	1,443	748	985	163	8,420	18,206	5,734	165	2,622	411	38,896
H30	988	1,039	589	251	8,405	17,855	5,445	434	2,986	298	38,290
R元	1,882	1,278	246	751	9,609	16,343	6,705	352	3,247	29	40,441

(注)1.都道府県の報告による(都道府県は、市町村からの報告を基に把握を行っている)。

2.ラウンドの関係で合計が一致しない場合がある。

3.「0」は単位に満たないもの

## クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議 設置要綱

### (目的)

第1条 クマ類の地域個体群存続と人間との軋轢軽減の両立を目指し、クマ類の保護・管理に関する関係省庁による情報共有、意見交換等を行うため、「クマ被害対策等に関する関係省庁連絡会議（以下「連絡会議」という。）」を設置する。

### (所掌事項)

第2条 連絡会議は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を行う。

- (1) 情報共有及び共有体制に関する検討。
- (2) 自治体との連携に関する検討。
- (3) 第1条の目的を達成するために必要と認められるその他の事項。

### (構成)

第3条 連絡会議は、別表に記載する関係省庁をもって構成する。

### (会議)

第4条 連絡会議は、環境省自然環境局野生生物課長が必要に応じて招集する。また、構成省庁からの要請を踏まえ、環境省自然環境局野生生物課長が必要と認めたときは、会議を招集する。

### (事務局)

第5条 連絡会議の事務局は、環境省自然環境局野生生物課に置き、同会議の事務を処理する。

### (その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、連絡会議の開催方法等に関し必要な事項は構成員に諮って定める。

### 附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

別表

構成省庁	警察庁生活安全局保安課長
	農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課長 農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課鳥獣対策室長
	林野庁森林整備部研究指導課長 林野庁森林整備部研究指導課森林保護対策室長
	環境省自然環境局野生生物課長 環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室長

事務連絡  
令和3年9月8日

各都道府県  
鳥獣行政担当課長 様

環境省野生生物課  
鳥獣保護管理室長

令和3年度秋期におけるクマ類の出没に係る適切な対応について（依頼）

平素より、鳥獣保護管理行政の推進にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、クマ類の市街地周辺への出現・出没やクマ類による死傷事故の発生などが報告されており、出没情報の収集、住民への注意喚起、連絡体制整備、出没時の対応など、各種の対応に御尽力いただいているものと存じます。

クマ類の出没に係る対応については、本年3月31日付け事務連絡「令和3年度におけるクマ類の出没に係る適切な対応について（依頼）」により注意喚起してきたところですが、本年の堅果類の結実状況などの状況によっては、クマ類の出没についてより一層の注意が求められるところです。

住民や入山者等とクマ類との不慮の遭遇を避けるためにも、各都道府県におかれましては、引き続き、関係部局と連携の上、クマ類の出没や被害防止に関する情報提供を行うとともに、農地や集落周辺における生ゴミや放置果実類等のクマ類の誘引物の管理・除去について注意喚起をお願いいたします。

また、出没時には、関係機関等とも密に連携を取り、現地の状況や被害に応じた迅速な対応をお願いいたします。

なお、環境省では、これまでに蓄積されてきたデータ等を踏まえ、本年3月に「クマ類の出没対応マニュアル」の改定を行ったところです。環境省ホームページにおいて掲載しておりますので、管内市町村など関係機関にも情報提供をしていただくとともに、地域の状況にあった出没対策の参考としてご活用ください。

「クマ類の出没対応マニュアル改定版」の掲載アドレス

<http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/effort12.html>

※クマ類の恒常的生息域でない県におかれては、必要に応じて対応いただくようお願いいたします。

環境省野生生物課鳥獣保護管理室
担当：岩田 <a href="mailto:KIYOHITO_IWATA@env.go.jp">KIYOHITO_IWATA@env.go.jp</a>
福田 <a href="mailto:MAKOTO_FUKUDA@env.go.jp">MAKOTO_FUKUDA@env.go.jp</a>
安藤 <a href="mailto:KOICHI_ANDO@env.go.jp">KOICHI_ANDO@env.go.jp</a>
(TEL:03-5521-8285)



各地方農政局 農村振興部 農村環境課長 殿  
(九州農政局及び沖縄総合事務局は参考)

農村振興局 農村政策部  
鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室長

農作業中におけるクマ類の出没及び人身被害防止等に対する指導等の徹底  
について（依頼）

本年度は、農業現場のみならず、市街地周辺でもクマ類の出没が多数確認されており、農業者等への注意喚起について「農作業中におけるクマ類の出没及び人身被害防止等に対する指導等の徹底について（依頼）」（令和3年4月19日付け事務連絡）により対応をお願いしているところですが、今般、環境省から別紙のとおり、各都道府県の鳥獣行政担当課長宛てに住民等に対するクマ情報の提供や注意喚起など、クマ類に関する知識の普及啓発などについて、広く一般の方への浸透を求める事務連絡が発出されたところです。

クマは冬眠に入る前の10月から11月にかけて、餌を求めて人里まで行動圏が拡大すると一般的に言われています。

農作業中におけるクマ類の出没による人身被害、農作物被害等の防止に向けて、

- 1 農作物の廃棄残渣などが誘因物とならないよう適切に処理する
- 2 里山との緩衝地帯での下草や灌木などの刈払いを実施する
- 3 クマ類の行動が活発になる早朝、夕方の作業時は十分気をつける
- 4 農地などでの作業時には、ラジオなどで音を出して人の存在をアピールする
- 5 クマ類の侵入を防ぐため、収納庫の施錠を徹底する

等の適切な対応について、環境部局や森林部局と連携の上、農業者等への指導及び関連情報の周知による注意喚起を徹底していただくよう、貴管内の都府県に対して依頼をお願いします。

また、農業被害の防止に向けたクマ対策として「刈り払い等生息環境管理」「侵入防止柵の設置や捕獲機材の導入」「捕獲活動経費の直接支援」「生息状況調査」「研修会の開催」など鳥獣被害防止総合対策交付金で支援していますので、積極的なご活用について周知願います。

【参考】

○農林水産省作成リーフレット「クマにご注意下さい」

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/tyuuikanki/index-8.pdf>

○環境省 WEB サイト「クマに関する各種情報・取組」

<http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/effort12.html>

○環境省 WEB サイト「クマ類の出没対応マニュアル改定版」

<http://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/index.html>

農林水産省 農村振興局 農村政策部  
鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室  
担当：福田、須藤 TEL:03-6744-7642（直通）

事務連絡  
令和3年9月8日

北海道 農政部 技術普及課長 殿

農村振興局 農村政策部  
鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室長

### 農作業中におけるクマ類の出没及び人身被害防止等に対する指導等の徹底について（依頼）

本年度は、農業現場のみならず、市街地周辺でもクマ類の出没が多数確認されており、農業者等への注意喚起について「農作業中におけるクマ類の出没及び人身被害防止等に対する指導等の徹底について（依頼）」（令和3年4月19日付け事務連絡）により対応をお願いしているところですが、今般、環境省から別紙のとおり、各都道府県の鳥獣行政担当課長宛てに、住民等に対するクマ情報の提供や注意喚起など、クマに関する知識の普及啓発などについて、広く一般の方への浸透を求める事務連絡が発出されたところです。

クマは冬眠に入る前の10月から11月にかけて、餌を求めて人里まで行動圏が拡大すると一般的に言われています。

農作業中におけるクマ類の出没による人身被害、農作物被害等の防止に向けて、

- 1 農作物の廃棄残渣などが誘因物とならないよう適切に処理する
- 2 里山との緩衝地帯での下草や灌木などの刈払いを実施する
- 3 クマ類の行動が活発になる早朝、夕方の作業時は十分気をつける
- 4 農地などでの作業時には、ラジオなどで音を出して人の存在をアピールする
- 5 クマ類の侵入を防ぐため、収納庫の施錠を徹底する

等の適切な対応について、環境部局や森林部局と連携の上、農業者等への指導及び関連情報の周知による注意喚起を徹底していただくようお願いします。

また、農業被害の防止に向けたクマ対策として「刈り払い等生息環境管理」「侵入防止柵の設置や捕獲機材の導入」「捕獲活動経費の直接支援」「生息状況調査」「研修会の開催」など鳥獣被害防止総合対策交付金で支援していますので、積極的なご活用について周知願います。

#### 【参考】

○農林水産省作成リーフレット「クマにご注意下さい」

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/tyuuikanki/index-8.pdf>

○環境省 WEB サイト「クマに関する各種情報・取組」

<http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/effort12.html>

○環境省 WEB サイト「クマ類の出没対応マニュアル改定版」

<http://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/index.html>

#### 【担当】

農林水産省 農村振興局 農村政策部

鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室

担当：福田、須藤 TEL:03-6744-7642（直通）

事務連絡  
令和3年9月8日

都道府県 森林保護担当課長 殿  
(茨城県、千葉県、九州8県はご参考)

林野庁 研究指導課 森林保護対策室長

森林でのクマによる人身被害の防止について（協力依頼）

平素より、森林保護業務に御尽力いただきまして感謝申し上げます。

表記については、既に「森林でのクマ類による人身被害防止に対する指導等の徹底について」（令和3年4月19日付け事務連絡）によりお願いしているところですが、

これからの時期は、冬眠に備え餌を求めてクマの行動圏が拡大することから、林内での作業等で、意図せずにクマの行動圏に近づく危険があるほか、今後、猟期に入ると林内の狩猟用わなで錯誤捕獲されたクマや捕獲鳥獣に誘引されたクマに遭遇する可能性も高くなります。

つきましては、林業関係者のクマによる人身被害を防止するため、鳥獣行政担当部局や農政部局等とも連携し、市町村や林業関係団体等に対してクマによる被害防止の関連情報（以下の参考を参照ください。）や、集落周辺の森林におけるクマの隠れ場所の解消の推進等について周知等のご協力をお願いします。

なお、環境省から都道府県鳥獣行政担当部局に、農林水産省農村振興局から地方農政局にクマ出没への対応にかかる事務連絡が発出されていることを申し添えます。

【参考】

- ・環境省 Web サイト「クマに関する各種情報・取組」  
<http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/effort12.html>
- ・農林水産省作成リーフレット「クマにご注意下さい！」  
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/tyuuikanki/index-8.pdf>

保護企画班 宮崎、堀井  
電話：03-3502-1063



## クマによる人身事故状況一覧(令和2年4月～令和3年3月)

発生日	都道府県	被害区分	被害人数	事故概要
4月27日	兵庫県	軽傷	1	タケノコ掘りの作業中、クマと遭遇し、クマの体当たりにあった。右腕に打撲と擦り傷を負うが、命に別状はなし。
5月2日	岩手県	軽傷	1	山菜・きのこ採りの作業中、クマに襲われ、頭部と左ひじに軽傷を負った。
5月3日	富山県	重傷	1	有害捕獲活動中にクマと遭遇し発砲。確認のため近づいたところ、クマに反撃され頭部から顔面にかけて引っ掻かれ重傷。
5月6日	秋田県	軽傷	1	山菜の下見で入山し、クマと遭遇。顔面右、左手親指の裂傷
5月8日	北海道	軽傷	1	山菜採りで入山し、親子グマに遭遇。親グマに足首を咬まれ、足首に咬傷、右腓骨を骨折。
5月17日	富山県	重傷	2	1人が自宅敷地内でクマと遭遇し、驚いた際に転倒して左下腿部骨折の重傷、その後移動したクマに畑で農作業中の1人が襲われ、右腕、右下腿部を噛まれ重傷。
5月20日	山形県	軽傷	1	川沿いの遊歩道を歩いていた男性がクマにおそわれ、軽傷。
5月27日	秋田県	重傷	1	タケノコ採りで入山し、クマと遭遇。顔面、腕の裂傷
5月29日	福島県	軽傷	1	登山をしていた男性1人がクマに襲われ、左肩や左腕を咬まれる軽傷を負った。
5月30日	青森県	軽傷	1	山菜採りをしていた男性がクマに襲われ、顔などに全治2週間のケガを負った。
6月1日	岩手県	重傷	1	農作業中、クマに襲われ、顔や背中に重傷を負った。
6月4日	岩手県	重傷	1	歩行中、クマに襲われ、左側頭部や左肩に重傷を負った。
6月20日	岩手県	重傷	1	散歩中、クマに襲われ、左耳や額に重傷を負った。
6月21日	秋田県	重傷	1	ため池の見回りのため、山林に入ったところ至近距離で遭遇し、襲われた。右手骨折
6月24日	岩手県	重傷	1	農作業中、クマに襲われ、頭頂部から左耳にかけて重傷を負った。
6月24日	山口県	軽傷	1	ジョギング中の男性が襲われ、胸、背中、左腕に軽傷を負った。
6月27日	長野県	軽傷	1	早朝単独でのハイキングで山に入った女性がクマに襲われ、頭等に軽傷を負った。
6月30日	岩手県	軽傷	1	畑の草刈り中、クマに襲われ、肩や首元に軽傷を負った。
7月1日	岐阜県	軽傷	1	錯誤捕獲により捕獲されたクマを被害防止の許可のもと、止めさしを実行した。しかしまだクマが生きており、近づいた猟友会員が襲われ全治10日の軽傷を負った。
7月6日	石川県	重傷	1	金沢市内の遊歩道をトレッキング中の60代男性がクマに襲われた。

7月13日	秋田県	軽傷	2	高山植物盗掘防止等パトロール中、出会い頭に親子グマと遭遇し、親グマに襲われた。
7月16日	秋田県	軽傷	1	畑で作業中、背後から移動してきたクマと接触し、畑法面から落下し、背中を負傷した。
7月16日	広島県	軽傷	1	夕方、女性(80代)が自宅裏庭で草取り中に襲われ、顔面を爪でひっかかれる。
7月18日	福井県	未確認	1	住民が家の付近の物陰から出てきたクマに襲われ、顔の右側をひっかかれ、右足に噛みつかれた。
7月21日	青森県	重傷	1	山菜取り中にクマに襲われ、腕を骨折したほか顔にひっかき傷を負った。
7月25日	岩手県	重傷	1	散歩中、子グマ2頭と遭遇し、逃げようとしたが母グマに襲われ、首と右太腿に重傷を負った。
7月25日	岩手県	軽傷	1	牛舎飼料置き場でクマに襲われ、額と左腕に軽傷を負った。
7月28日	富山県	軽傷	1	自宅付近の神社を散歩中、後ろからクマに襲われ、左脛脛(ふくらはぎ)、左臀部、右足膝裏を噛まれ軽傷。
7月30日	岩手県	軽傷	1	環境アセス調査中にクマに襲われ、頭及び右腕を噛まれる軽傷を負った。
7月30日	栃木県	軽傷	1	きのこ採りで入山し、クマと遭遇。右腕や腹を引っかかれ、肋骨を骨折。
8月1日	福島県	軽傷	1	農作業をしていた男性1人がクマに襲われ、右腕を引っかかれる軽傷を負った。
8月2日	三重県	軽傷	2	大台町岩井の宮川南岸でバーベキューの帰り支度をしていた4名のグループが、ツキノワグマに遭遇し、うち2名が負傷。それぞれ左人差し指骨折、左足すね切傷(数針縫合)の軽傷
8月3日	岩手県	重傷	1	男性が山菜採り中にクマに襲われ、左顔面にケガを負った。
8月4日	群馬県	重傷	1	散策中にクマと遭遇し負傷。
8月5日	岩手県	軽傷	1	男性が山菜採り中にクマに襲われ、右足や左腕に軽傷を負った。
8月9日	富山県	軽傷	1	早朝に集落を散歩中に繁みから現れたクマに襲われ、左手首、左掌を噛まれ軽傷。
8月9日	長野県	軽傷	1	深夜のキャンプ場でえさを求めるクマがテントを襲い、テント泊の女性が足を負傷した。
8月10日	福井県	未確認	1	林道を散歩していた旅行者がクマと遭遇し、腕、手、顔をひっかかれた。
8月10日	長野県	軽傷	1	観光で訪れた女性が早朝一人で散歩中にクマに襲われ、頭等に軽傷を負った。
8月11日	青森県	重傷	1	リンゴ園で農作業中にクマに襲われ、側頭部や左手首などにけがを負った。
8月11日	栃木県	軽傷	1	登山中にクマと遭遇。手首を咬まれ負傷
8月13日	岩手県	重傷	2	精米小屋から物音が聞こえたため、男性2名が確認に向かったところクマ2頭に襲われ、顔や足などに重軽傷を負った。

8月14日	岩手県	軽傷	1	男性が農作業中、背後からクマに襲われ、鼻の下及び右頬に軽傷を負った。
8月14日	栃木県	重傷	1	深夜に歩行中クマと遭遇。右肩、右腕を咬まれ負傷
8月17日	長野県	軽傷	1	朝、ミョウガ採集中にクマに遭遇、左手指に軽傷を負った。
8月17日	三重県	軽傷	1	大台町大杉谷登山道で2名グループの登山者が下山していたところ、ツキノワグマに遭遇し、内1名が噛まれたり引っかかれたりして両足3か所の負傷。
8月18日	長野県	軽傷	1	夕方犬を連れて散歩中の女性が子連れのクマに襲われ、頭、腕等に軽傷を負った。
8月19日	岩手県	未確認	1	女性が農作業中、クマに襲われ、頭部にケガを負った。
8月20日	岩手県	重傷	1	男性が農作業中、クマに襲われ、顔面、左足及び右肩に重傷を負った。
8月20日	福島県	軽傷	1	農作業をしていた女性1人がクマに襲われ、右腕を咬まれ、背中を引っかかる軽傷を負った。
8月22日	岩手県	重傷	1	男性がわなにかかったクマの止め刺し作業中、わなから飛び出してきたクマに襲われ、頭、顔及び首に重傷を負った。
8月22日	広島県	重傷	1	イノシシ駆除のためのくくりわなを見に行ったところ、くくりわなにクマがかかっており、そのクマに襲われた。
8月23日	青森県	軽傷	1	リンゴ園で農作業中にクマに襲われ、顎や右肘などにけがを負った。
8月23日	群馬県	重傷	1	散歩中にクマと遭遇し負傷。
8月24日	北海道	未確認	1	有害駆除中に親子2頭と遭遇し、左腕を骨折、頭部等を負傷する怪我を負った。
8月24日	山形県	軽傷	1	イノシシ捕獲のため設置したわなを確認していた男性がクマにおそわれ、軽傷。
8月29日	秋田県	軽傷	1	市道を自転車で走行中、前方に現れたクマにすれ違いざまに爪でひっかかり軽傷を負った。
9月2日	岩手県	軽傷	1	男性が林道を歩行中、子連れのクマに襲われ、額、唇、左肩に軽傷を負った。
9月2日	石川県	重傷	1	70歳代男性が頭長部から右上腕を負傷 県道で、付近を歩いていたところ、クマに襲われた。
9月4日	岩手県	軽傷	1	男性が溪流釣中、背後からクマに襲われ、頭部等に軽傷を負った。
9月5日	群馬県	重傷	1	男性1名が、蟻川岳登山道でクマと遭遇し負傷
9月6日	福島県	軽傷	1	ニホンジカ用くくり罠に錯誤捕獲されていた子グマを放獣しようとしていた男性1人が近くにいた親グマに襲われ、左目下、両腕を引っかかれ、左ふくらはぎを咬まれる軽傷を負った。
9月6日	鳥取県	未確認	1	水田奥の水路を清掃中にクマに遭遇し、左足の腿を噛まれ軽傷。
9月10日	山梨県	軽傷	1	甲州市山中において登山客とツキノワグマの親子が遭遇し、小熊が男性に怪我を負わせた

9月10日	長野県	未確認	1	夜自宅から車に荷物を取りに出たところでクマに遭遇し、負傷した。
9月11日	群馬県	未確認	2	男性2名が、田代川で釣り中にクマと遭遇し負傷
9月14日	岩手県	軽傷	1	女性が自転車で帰宅途中、クマと出合頭にぶつかり、背中、腰、左ひじに軽傷を負った。
9月15日	岐阜県	軽傷	1	一人で星を撮影に来ており、当該施設駐車場から茂みに入って撮影しようとしたときに、クマ1頭と遭遇しケガをした。右頬の切創、右親指の挫創した。
9月16日	群馬県	重傷	1	男性1名が、釣りを終えて帰る途中にクマと遭遇し負傷
9月17日	岩手県	重傷	1	男性が栗拾い中、クマに襲われ、頭及び顔に重傷を負った。
9月17日	福島県	軽傷	1	イノシシ用くくり罠に錯誤捕獲されていたクマの対応をするため、男性3人が近づいたところ、くくり罠が切れて、先頭にいた男性1人が錯誤捕獲されていたクマに襲われ、左前腕を咬まれ、顔を引っかかる軽傷を負った。
9月19日	岩手県	重傷	2	女性が農作業中、クマに襲われ、頭部に重傷を負った。この被害を受け、付近を捜索していた猟友会の男性が隠れていたクマに襲われ、右足に重傷を負った。
9月20日	山梨県	軽傷	1	北杜市山中においてキノコ狩り中の男性とツキノワグマの親子が遭遇し、親熊が怪我を負わせた
9月20日	長野県	軽傷	1	早朝自宅から犬の散歩に出たところクマに襲われ、頭等に軽傷を負った。
9月23日	新潟県	軽傷	1	自宅に帰宅した際にクマ1頭に遭遇し、腕などを負傷した(擦過傷)。
9月26日	福島県	軽傷	1	イノシシ用くくり罠に錯誤捕獲されていたクマを確認した男性1人が近くにいたクマに襲われ、両前腕、陰部等を咬まれ、顔、頸部を引っかかる軽傷を負った。
9月26日	新潟県	重傷	1	畑での耕作中にクマに襲われ、右側頭部、顔面等を負傷した。
9月28日	新潟県	重傷	1	旅館の敷地内に体長100cmのクマ1頭が出没し、クマに襲われ右大腿部等を負傷した。
9月29日	新潟県	重傷	1	河川敷でクルミ拾いをしていたところクマに襲われ、頭部に裂傷を負った。
9月30日	福井県	軽傷	1	自宅敷地内で草刈りをしており、刈った草を運んでいたところ、後ろからクマが出没し、顔と左手をひっかかれた。加害グマは1頭で、1mほど。
10月1日	新潟県	軽傷	1	畑作業中、クマに襲われ負傷。
10月1日	新潟県	未確認	1	男性が畑作業中、クマに襲われ頭頂部を噛まれ負傷。
10月1日	新潟県	死亡	1	女性が畑作業中、クマに襲われ、頭部、顔面等を負傷し、病院に搬送されたが10月11日に死亡。
10月2日	岩手県	重傷	1	男性がきのこ採り中、クマに襲われ、頭、頬、口に重傷を負った。
10月2日	岩手県	軽傷	1	女性がコンポストに生ごみを廃棄中、クマに襲われ、顔に軽傷を負った。
10月2日	福島県	軽傷	1	出勤しようとアパートから出た男性1人がクマに襲われ、右手や左足をひっかかる軽傷を負った。

10月2日	福井県	軽傷	1	住民が自宅横の花壇で水やりをしていたところ、後ろから成獣1頭にぶつかられ、左腕を擦りむいた。
10月4日	福井県	軽傷	1	菊の植え付け作業をしていたところ、成獣1頭があらわれ、顔と胸をひっつかかれた。クマはその後、南西側の茂みに移動した。
10月7日	秋田県	死亡	1	クリ拾い後、帰宅途中に市道上でクマと遭遇、襲われた。顔面頭蓋骨開放骨折、病院に入院・治療していたが一週間後に死亡。
10月7日	山形県	軽傷	1	事業地敷地内で荷物を積んでいた男性がクマにおそわれた。
10月7日	石川県	重傷	1	自宅前で襲われた。
10月9日	岩手県	未確認	1	女性がきのこと採り中、クマに頭部、脇及び足を噛まれ負傷した。
10月9日	福井県	軽傷	1	農作業に向かう途中、生活道路でクマ1頭に遭遇し、襲われた。一度襲われうずくまって顔を挙げたところ、再度襲われた。頭、首、太ももをひっつかかれた。
10月10日	福島県	軽傷	1	犬の散歩をしていた男性1人がクマに襲われ、右上腕を咬まれる軽傷を負った。
10月11日	山形県	軽傷	1	農作業中の女性がクマにおそわれた。
10月11日	新潟県	重傷	2	市道上でウォーキング中の女性がクマに襲われ、後頭部、腰などを負傷。付近において、別の女性が畑での農作業中、クマに襲われ、肘、脇を負傷。
10月13日	新潟県	重傷	1	河川敷でクマに襲われ、後頭部、頸部(後ろ)、背中、左手を負傷。
10月16日	宮城県	軽傷	1	正午頃、山林において栗拾い中の82歳の女性がツキノワグマに襲われ、頭部や腕を負傷。
10月16日	群馬県	軽傷	1	男性1名が、旅館の敷地内でクマと遭遇し負傷。
10月16日	石川県	重傷	4	畑作業中や自宅近所で襲われ、捕獲作業に当たった猟友会員も負傷した。
10月16日	福井県	軽傷	1	ギンナンを収穫するために银杏の木に近づいたところ、银杏の木から降りてきたクマに襲われた。頭、顔、首、左手首をひっつかかれた。加害グマは成獣1頭。クマは山中に移動した。
10月16日	島根県	重傷	1	自宅裏山林に設置してあるイノシシ用の防護柵を点検していたところクマに遭遇して頭部等を噛まれた。
10月17日	石川県	軽傷	3	住宅地で3人が襲われ、負傷した。
10月18日	石川県	軽傷	1	住宅地を歩いているとことを襲われた。
10月18日	長野県	重傷	1	男性が自宅近くの畑付近で農作業中にクマに遭遇して、頸部を負傷した。
10月21日	新潟県	重傷	1	玄関前でクマに襲われ、前頭部、顔、手などを負傷。
10月21日	新潟県	重傷	1	県道を自転車で移動中、クマに引っかけられ頭、顔などを負傷。
10月22日	新潟県	重傷	1	民家敷地内でクマに襲われ、頭、腕、手などをを負傷。

10月22日	石川県	重傷	1	田んぼで襲われた。
10月23日	福井県	軽傷	1	JR職員が、JR倉庫の外で作業中に、倉庫でひそんでいたクマに襲われた。右肩と首をひっかかれた。
10月23日	福井県	重傷	1	北陸新幹線建設現場にて、作業員が上記と同一個体とみられるクマに遭遇し、襲われた。かみつかれ、顔を負傷、右足骨折。
10月23日	福井県	未確認	1	自宅で車に乗ろうとしたところ、背後からクマ1頭に襲われた。かみつかれ、後頭部、左腕上部を負傷。
10月23日	長野県	軽傷	1	女性が自宅付近で養蜂箱の脇の茂みから現れたクマに遭遇して、臀部を負傷した。
10月24日	京都府	軽傷	1	朝、自宅横にある栗の木の実を拾いにいったところ、近くに潜んでいたクマに襲われ、側頭部に軽傷を負った。
10月26日	山形県	軽傷	1	自宅前で落葉をしていた女性がクマにおそわれた。
10月27日	新潟県	重傷	1	畑でクマに襲われ、頭部などを負傷。
10月28日	福井県	軽傷	1	自宅の車庫で車を降りたところ、クマ1頭に引っかかれた。右足ふくらはぎをひっかかれ、転倒し顔面を打撲。
10月29日	福井県	重傷	1	新聞配達員が山際住宅に新聞配達中に遭遇したクマに、顔をひっかかれた。
10月31日	山梨県	重傷	1	小菅村山中でキノコ狩りを行っていた男性が、出会い頭にツキノワグマに襲われ、頭部挫傷と左足を骨折の重傷を負った。
10月31日	長野県	重傷	1	女性が自宅敷地で灯油タンクから給油中にクマに襲われ、顔面を負傷した。
11月1日	岩手県	軽傷	1	男性が歩行中、クマに襲われ、左鼠径部及び右足に軽傷を負った。
11月1日	秋田県	重傷	1	キノコ採り中に、体長1メートルの親グマと子グマ2頭と遭遇、親グマに襲われ、頭部や顔面等の損傷。
11月2日	新潟県	重傷	2	山中でクルミ拾いをしていたところ、クマに襲われ腕などを負傷した。
11月3日	岩手県	未確認	1	男性が歩行中、クマに襲われ、顔、左腕及び右足を負傷した。
11月3日	京都府	軽傷	1	早朝、自宅近くの新聞を取りに行く際に、クマに襲われ後頭部に軽傷を負った。
11月4日	長野県	軽傷	1	沢沿いの林内で松くい虫調査をしていた人がクマに遭遇、足を負傷した。
11月5日	青森県	未確認	1	山中でキノコ採り中にクマに襲われ、右手を咬まれ、左手・左足を爪でひっかかれた
11月5日	福島県	軽傷	1	歩いていた男性1人がクマに襲われ、右腕を咬まれる軽傷を負った。
11月6日	石川県	重傷	1	住宅地でゴミ出しの際に襲われた。
11月8日	石川県	重傷	1	介護老人保健施設職員が勤務中、施設入口付近(建物の外)で襲われた。

11月11日	兵庫県	重傷	1	旦那さんと散歩中に突然現れたクマ2頭と遭遇し、そのうち1頭に女性が襲われ負傷。右顔面の裂傷と右腕を裂傷及び骨折の重傷を負うが、命に別状なし。
11月12日	広島県	重傷	1	有害鳥獣駆除で設置した箱わなに錯誤捕獲されているツキノワグマに近づいたところ、ツキノワグマが箱わなから出て、頭部等を引っ掻かれた。
11月15日	山梨県	軽傷	1	北杜市山中で狩猟中に、狩猟者の男性一名がツキノワグマに襲われ顔面、右腕、右太腿に引っ掻き傷を負った。
11月16日	広島県	重傷	1	田んぼで作業中に親子クマ2頭に出くわし、母クマに顔を咬まれた。
11月17日	島根県	軽傷	1	くくりわなにかかったイノシシを確認しようとしたところ、クマに遭遇し、頭部、顔面、両腕を爪により受傷し、市内の病院で治療を受ける。
11月18日	石川県	重傷	1	川沿いの遊歩道を犬の散歩中に襲われた。
11月19日	富山県	重傷	1	自宅敷地内で落ち葉拾いをしていたところ、背後から現れたクマに襲われ、左顔面を噛まれ重傷。
11月30日	新潟県	重傷	2	男性が墓参りをしていたところ、クマに襲われ左頬を負傷した。人身事故の現場対応をしていた別の男性が、クマに足をかまれ負傷した。
12月4日	新潟県	重傷	1	民家敷地内でクマに襲われ、頭部などを負傷した。
12月11日	鳥取県	重傷	1	自宅玄関を出たところでクマと遭遇し、左前腕部を噛まれるなどの重症。
12月17日	新潟県	重傷	1	自宅作業小屋で除雪作業準備中にクマに襲われ、顔面と左腕を負傷した。
1月13日	長野県	重傷	1	狩猟でクマを銃で撃ち、様子を見ながら近づいたところ襲われ、頭部等を負傷した。
3月7日	新潟県	軽傷	1	登山中、藪の中に誤って足を踏み入れた際に子グマを踏んでしまい、当該子グマに噛まれ軽傷を負った。
3月22日	岩手県	軽傷	1	食事中に物音に気付いたため、屋外に出て縁側の扉を開けたところ中から飛び出してきたクマに襲われ、顔や両腕に軽傷を負った。
計	死亡		2	
	重傷		67	
	軽傷		76	
	未確認		13	
	その他		0	
合計			158	



## クマによる人身事故状況一覧(令和3年4月～令和4年3月)

発生日	都道府県	被害区分	被害人数	事故概要
4月10日	北海道	死亡	1	山菜採りをしていたところ、ヒグマに遭遇し、頭部に損傷を受け死亡。
4月20日	秋田県	重傷	1	山菜採りのため男性2名で入山。うち1名が下山中にクマ(1頭)と遭遇し被害にあった。顔面(頬)の骨折により重傷。
4月25日	福井県	重傷	1	ツキノワグマ狩猟者育成研修中に、猟友会支部会員が、藪に潜んでいたクマに襲われ、顔、後頭部をひっつかかれ、噛みつかれた。
4月27日	北海道	重傷	1	ハンターがヒグマに襲われ、頭部、右腕及び右足に損傷を受けた。
5月15日	岩手県	未確認	1	女性が山へ山菜採りに入ったところ、クマに襲われ、顔面、首、背中を負傷した。
5月23日	福島県	重傷	1	山菜採りの最中、クマ(体長1m)に襲われ、顔を噛まれた。自力下山後に付近の人に救助を求めた。
5月24日	新潟県	重傷	1	タケノコ採りの最中に体長約1.3mにクマ1頭に襲われ、両足などを負傷。
5月30日	群馬県	未確認	1	男性1名が、溪流釣り中にクマと遭遇し負傷。
5月30日	奈良県	軽傷	1	鹿捕獲用の檻に錯誤捕獲されたツキノワグマを逃がそうとしたところ、足をひっつかかれ、ふくらはぎを10針縫うケガを負った。
6月3日	福島県	軽傷	1	溪流釣りをするため、沢沿いを歩行中、クマ(体長不明)に前方から襲われた。(右肩咬傷、背中および左腕裂傷) 自力下山後、付近の診療所で治療を受けた。
6月3日	広島県	軽傷	1	自宅裏のため池を見回っていた際に子グマと遭遇し、右肩・両手首を咬まれた
6月5日	岩手県	軽傷	1	男性が山菜採り中、クマに襲われ、あごや右頬に軽傷を負った。
6月9日	岩手県	軽傷	1	女性が一人で釣りをしていたところ、背後から成獣とみられるクマに襲われ、右側頭部に軽傷を負った。
6月14日	北海道	重傷	1	国有林の間伐踏査のため入林した作業員がヒグマに襲われ負傷した。
6月18日	北海道	重傷	4	札幌市東区に出没したヒグマによる事故。市街地をヒグマが走り、居合わせた人が被害を受けたもの。
6月18日	長野県	重傷	1	自宅庭で背後からクマに襲われ右腕骨折等の重傷を負った。
6月23日	兵庫県	軽傷	1	早朝、一人で登山中、振り返ったところ後方からクマに襲われ、左足の膝部を2カ所噛まれ軽傷。
6月26日	岩手県	軽傷	1	女性が山菜採り中、クマに襲われ、後頭部から前頭部にかけて軽傷を負った。
6月30日	長野県	軽傷	1	登山道付近の山林内を歩行時にクマに襲われ左腕に裂傷を負った。
7月2日	北海道	死亡	1	畑仕事のため畑に来ていた被害者がヒグマに襲われ死亡したとみられる。(遺体で発見)

7月2日	宮城県	軽傷	1	山林において、木材の搬出作業中の30代の男性がツキノワグマに襲われ、腰や脇腹を負傷
7月7日	群馬県	軽傷	1	男性1名が、登山中にクマと遭遇し負傷
7月12日	北海道	死亡	1	林道を歩いていた被害者がヒグマに襲われ死亡したとみられる。(遺体で発見)
7月12日	群馬県	重傷	1	男性1名が、犬の散歩中にクマと遭遇し負傷
7月13日	富山県	軽傷	1	林道を散歩中に、藪から出て向かってきたクマに抵抗しようとして蹴った際に、左足を引っ掻かれた。
7月15日	福島県	軽傷	1	山菜採り中、ツキノワグマ二頭に遭遇。そのうち一頭に襲われ、右大腿部および右脇腹に裂傷を負った。
7月16日	岩手県	未確認	1	女性がバス停から自宅まで徒歩で移動していたところをクマに襲われ、右顔面、手首、右太もも、背中にケガを負った。
7月16日	群馬県	重傷	1	男性1名が、測量業務を実施中にクマと遭遇し負傷
7月19日	秋田県	軽傷	1	山菜採りのため入山した男性が親子グマと遭遇し襲われた。顔、背中、指に軽傷を負った。
7月19日	長野県	重傷	1	林道を歩行中にクマに襲われ左手指骨折等の重傷を負った。
7月19日	岐阜県	軽傷	1	ぐくり罠にイノシシが捕獲されていると思い込み近づいたところツキノワグマがかかっており左腕を噛まれた。加害クマは負傷者によってその場で捕殺。
7月21日	岩手県	重傷	1	女性が自宅で夕涼み中、クマに襲われ、顔面、左上腕に重傷を負った。
7月21日	秋田県	軽傷	1	山菜採りからの帰宅途中で林道で親子グマに遭遇し襲われた。腕、頭部などに軽傷を負った。
7月23日	岩手県	重傷	1	男性が山林内の水路を点検中、進行方向から出没したクマに襲われ、頭、両腕、左太ももに重傷を負った。
8月4日	岩手県	軽傷	1	女性が庭先に出たところをクマに襲われた。
8月4日	長野県	軽傷	1	林道を散歩中にクマに襲われ、額・肩に擦過傷を負った。
8月5日	長野県	重傷	1	自然休養林内の遊歩道を散策中にクマに襲われ、骨折・切創等の重傷を負った。
8月6日	静岡県	軽傷	1	19歳男性。自宅とは離れた猟犬飼育場付近でクマに遭遇し、自家用車に戻る途中で背後から突かれ転倒、右腕を噛まれた。全治1週間の右腕咬傷。
8月7日	北海道	重傷	2	畑で草刈りをしていた親子2名がヒグマに襲われ負傷した。
8月8日	岩手県	軽傷	1	男性が自宅敷地内で犬の散歩中、出会い頭にクマに襲われ、右上半身を負傷した。
8月19日	長野県	重傷	1	山林内でサル捕獲用の檻を確認していたところクマに襲われ、顔・腕に擦傷・咬傷を負った。
8月20日	群馬県	重傷	1	男性1名が、釣りを終えて帰る途中でクマと遭遇し負傷

8月22日	長野県	重傷	1	別荘地の遊歩道を散歩中にクマに襲われ、頭部に裂傷を負った。
8月28日	長野県	重傷	1	墓参に訪れた際、墓地でクマに襲われ、骨折・挫傷・裂傷等の重傷を負った。
8月30日	岩手県	軽傷	1	男性が散歩中、茂みから現れたクマに襲われ、右腕上腕に軽傷を負った。
計	死亡	3		
	重傷	23		
	軽傷	20		
	未確認	3		
	その他	0		
合計		49		



## クマ類による人身被害について

(単位:件、人)

都道府県	H29年度			H30年度			R01年度			R02年度			R03年度 (8月末暫定値)		
	件数	被害 人数	死亡者 人数	件数	被害 人数	死亡者 人数									
北海道	4	4	1	3	3	0	3	3	0	2	2	0	7	11	3
青森	8	9	0	3	3	0	5	5	0	5	5	0	0	0	0
岩手	16	17	0	12	12	0	15	16	0	27	29	0	10	10	0
宮城	3	3	0	1	1	0	6	6	1	1	1	0	1	1	0
秋田	19	20	1	7	7	0	14	16	0	8	9	1	3	3	0
山形	4	4	0	1	1	0	4	4	0	5	5	0	0	0	0
福島	8	9	0	1	1	0	9	10	0	9	9	0	3	3	0
茨城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	4	4	0	0	0	0	2	2	0	3	3	0	0	0	0
群馬	2	2	0	2	2	0	2	2	0	6	7	0	5	5	0
埼玉	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京	1	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
神奈川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟	5	5	0	6	6	0	16	20	0	17	21	1	1	1	0
富山	4	4	0	2	2	0	13	20	0	5	6	0	1	1	0
石川	2	2	0	2	2	0	6	6	0	10	15	0	0	0	0
福井	3	4	0	0	0	0	9	9	0	12	12	0	1	1	0
山梨	4	4	0	2	2	0	2	2	0	4	4	0	0	0	0
長野	6	7	0	5	5	0	8	8	0	12	12	0	8	8	0
岐阜	3	5	0	0	0	0	13	14	0	2	2	0	1	1	0
静岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
愛知	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
三重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0
滋賀	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
大阪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
兵庫	2	2	0	0	0	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0
奈良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
和歌山	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	0	0	0	0	0	0	2	3	0	2	2	0	0	0	0
島根	0	0	0	1	3	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0
岡山	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	1	1	0
山口	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0
計	100	108	2	51	53	0	140	157	1	143	158	2	45	49	3

※1. 数値は、都道府県から聞き取った速報値。

2. 徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各県については、近年クマの目撃・捕獲実績がないため表示していない。

## クマ類の捕獲数(許可捕獲数)について

(単位:頭)

都道府県	H29年度			H30年度			R01年度			R02年度			R03年度 (8月末暫定値)		
	計	捕殺	非捕殺	計	捕殺	非捕殺									
北海道	774	774	0	827	827	0	756	756	0	859	859	0	409	409	0
青森	263	261	2	156	155	1	249	245	4	161	161	0	147	147	0
岩手	279	275	4	254	246	8	364	350	14	459	432	27	239	235	4
宮城	57	56	1	68	67	1	213	213	0	285	275	10	93	92	1
秋田	793	793	0	410	408	2	533	533	0	607	607	0	340	338	2
山形	273	272	1	214	210	4	411	411	0	658	656	2	161	161	0
福島	204	202	2	254	251	3	556	549	7	858	852	6	281	273	8
茨城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木	27	27	0	40	40	0	61	60	1	93	89	4	10	10	0
群馬	175	174	1	213	208	5	380	377	3	521	521	0	191	189	2
埼玉	9	5	4	4	4	0	31	31	0	26	26	0	2	2	0
千葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京	1	1	0	1	1	0	14	14	0	12	12	0	2	2	0
神奈川	0	0	0	2	2	0	9	5	4	3	2	1	0	0	0
新潟	257	255	2	131	131	0	556	556	0	628	625	3	101	100	1
富山	44	44	0	34	34	0	178	172	6	169	168	1	28	28	0
石川	52	52	0	32	32	0	118	118	0	181	181	0	19	19	0
福井	83	80	3	143	136	7	250	193	57	223	177	46	62	61	1
山梨	14	10	4	24	22	2	44	37	7	59	41	18	16	7	9
長野	195	157	38	231	165	66	418	338	80	416	316	100	182	137	45
岐阜	140	133	7	97	97	0	490	490	0	209	209	0	22	22	0
静岡	30	30	0	24	24	0	20	20	0	24	23	1	7	7	0
愛知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	0	1
三重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
滋賀	4	2	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	14	1	13
京都	83	83	0	103	103	0	170	170	0	132	132	0	47	47	0
大阪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
兵庫	34	33	1	60	58	2	120	120	0	54	54	0	48	20	28
奈良	1	0	1	1	0	1	6	1	5	3	0	3	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	18	18	0	50	50	0	81	81	0	76	76	0	16	16	0
島根	98	62	36	145	113	32	151	99	52	340	267	73	53	36	17
岡山	2	2	0	9	9	0	11	11	0	18	18	0	14	9	5
広島	32	32	0	40	40	0	68	68	0	131	128	3	15	15	0
山口	10	10	0	19	13	6	26	21	5	39	27	12	10	10	0
計	3,952	3,843	109	3,586	3,446	140	6,285	6,039	246	7,249	6,939	310	2,531	2,394	137

- ※1. 数値は、許可捕獲（有害捕獲及び特定計画による数の調整）による捕獲数を都道府県等から聞き取った速報値。  
 2. 徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の各県については、近年クマの目撃・捕獲実績がないため表示していない。

クマ類の情報について(目撃・出没件数)

(単位:件)

都道府県	平成29年度													平成30年度													令和元年度													令和2年度													令和3年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	4月	5月	6月	7月	8月	計								
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
青森	10	37	73	97	80	31	61	26	1	4	0	4	424	10	46	69	126	114	8	14	3	2	0	1	2	395	6	26	78	112	76	55	68	16	3	7	1	2	450	7	64	80	103	108	37	15	6	3	0	0	0	423	8	36	104	80	72	300								
岩手	126	351	641	527	608	186	59	48	16	5	0	8	2,575	121	432	635	501	618	154	69	46	14	2	4	16	2,612	128	363	594	639	589	321	65	49	19	9	6	24	2,806	149	373	619	613	741	374	275	145	10	4	2	11	3,316	183	392	593	519	501	2,188								
宮城	28	132	191	186	197	99	21	8	8	1	0	8	879	40	217	232	222	142	67	53	37	13	4	3	6	1,036	44	104	121	222	155	90	52	62	18	4	6	5	883	46	109	148	185	217	148	211	176	13	3	14	10	1,280	24	123	183	138	82	550								
秋田	15	103	306	319	220	140	154	32	9	1	3	1	1,303	37	141	280	252	156	31	14	5	3	0	0	1	920	10	82	148	162	100	93	40	29	5	1	0	2	672	17	77	198	204	193	70	116	43	8	0	2	3	931	23	94	156	213	143	629								
山形	15	56	108	140	62	44	26	14	3	0	0	1	469	19	48	85	83	46	10	15	12	4	0	0	2	324	11	38	93	101	56	75	46	26	2	5	3	1	457	9	42	96	98	79	96	261	91	14	3	3	1	793	9	33	71	80	53	246								
福島	17	39	90	66	68	24	8	2	0	1	2	1	318	9	104	172	95	76	26	8	16	4	0	1	1	512	30	80	113	164	79	45	22	16	3	3	1	2	558	12	60	82	120	107	59	102	50	4	1	3	3	603	11	49	69	90	54	273								
茨城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
栃木	0	6	16	14	16	1	0	1	0	0	0	1	55	1	7	10	19	16	5	0	1	0	1	0	0	60	2	1	25	37	19	6		7	3	0	0	1	101	4	13	9	10	21	11	26	12	2	2	8	1	119	1	9	11	12	6	39								
群馬	29	75	98	117	83	39	13	18	8	1	0	3	484	34	116	121	107	106	49	27	15	4	2	1	3	585	8	65	255	296	177	123	56	47	8	1	2	1	1,039	27	79	159	165	255	194	173	88	18	3	2	8	1,171	22	65	109	100	62	358								
埼玉	2	2	10	4	3	8	0	1	1	0	0	3	34	2	4	9	6	2	4	3	3	0	0	1	0	34	1	3	12	12	14	6	8	7	0	0	0	0	63	1	9	11	15	7	4	5	4	3	0	0	4	63	3	9	4	13	5	34								
千葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
東京	6	8	9	26	21	10	3	6	5	0	2	2	98	6	10	11	12	9	3	2	5	1	0	1	5	65	4	10	18	17	12	17	21	24	1	8	1	3	136	2	2	9	10	24	5	11	6	7	1	1	1	79	3	4	8	9	15	39								
神奈川	6	5	16	6	5	11	2	5	3	0	2		61	4	10	25	7	5	9	6	6	2	2	3	3	82	4	16	10	21	24	73	129	90	0	0	4	0	371	2	3	4	9	12	7	21	10	11	1	1	0	81	1	10	15	9	3	38								
新潟	27	82	177	176	85	82	99	69	3	2	0	6	808	35	129	164	116	69	24	28	20	7	1	0	4	597	28	93	157	129	89	150	447	309	41	7	3	5	1,458	25	83	118	109	125	281	804	351	38	7	7	9	1,957	30	113	143	145	84	515								
富山	11	23	45	30	27	31	28	14	3	2	0	3	217	10	6	49	34	15	12	11	5	2	0	0	0	144	6	24	36	41	26	117	413	231	25	5	8	0	932	11	33	73	44	58	86	200	77	4	1	0	1	588	11	24	42	34	16	127								
石川	4	39	56	45	14	16	15	8	3	0	0	0	200	10	24	68	29	15	15	14	1	2	2	0	3	183	5	43	87	50	20	29	74	33	4	1	1	0	347	6	48	82	55	22	99	378	166	11	2	0	3	872	6	37	76	42	23	184								
福井	14	48	129	60	32	30	19	17	3	1	0	1	354	10	43	95	83	32	20	31	15	7	2	1	2	341	9	68	137	69	30	78	297	186	30	5	2	3	914	10	44	138	102	89	136	435	205	25	4	5	6	1,199	18	67	87	63	26	261								
山梨	8	16	39	24	19	6	3	5	2	0	0	0	122	3	23	28	22	11	8	8	3	2	1	0	0	109	7	14	30	27	26	34	35	24	7	1	2	3	210	11	9	24	42	20	11	20	6	2	0	3	2	150	8	30	30	37	9	114								
長野	11	20	91	151	152	133	22	15	3	1	0	1	600	22	92	183	158	182	55	23	18	9	0	3	4	749	18	64	196	291	334	207	125	68	16	8	2	3	1,332	16	50	151	264	411	309	126	86	14	3	2	5	1,437	16	78	210	266	205	775								
岐阜	18	54	144	98	105	59	26	20	1	0	3	2	530	12	46	115	57	27	13	5	5	2	2	1	1	286	14	37	135	171	109	131	119	84	28	11	11	3	853	45	48	158	129	77	76	40	31	0	1	0	3	608	11	22	65	49	50	197								
静岡	1	1	5	2	1	4	3	1	1	1	4	0	24	4	9	5	7	5	3	3	5	2	2	2	6	53	1	3	3	3	2	3	2	2	1	0	0	0	20	2	4	4	5	6	7	6	3	1	1	1	0	40	1	28	8	7	6	50								
愛知	0	0	0	4	2	1	1	0	1	0	0	0	9	0	1	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	0	0	0	3	0	4	6	10	4	0	0	0	27	0	0	2	1	3	5	3	5	3	0	0	0	22	1	1	1	1	0	4								
三重	2	4	4	2	1	8	2	0	0	1	0	1	25	0	4	5	2	4	3	3	0	0	1	0	0	22	0	0	2	1	2	2	5	5	6	0	3	0	26	0	2	0	4	5	3	3	2	5	1	0	0	25	1	0	2	1	5	9								
滋賀	6	31	33	32	13	13	5	2	1	0	0	1	137	3	27	19	16	10	5	7	4	0	1	2	0	94	1	11	35	21	8	8	20	13	0	0	0	0	117	1	11	22	22	9	6	14	9	6	0	0	4	104	6	9	10	13	6	44								
京都	27	139	173	142	106	120	94	35	16	4	1	4	861	40	110	218	180	127	118	134	125	37	4	2	1	1,096	41	108	185	196	199	143	284	253	39	5	0	7	1,460	13	84	140	179	231	104	158	122	64	6	1	7	1,109	38	114	86	97	74	409								
大阪	0	0	1	0	0	3	0	1	0	0	0	0	5	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	5									
兵庫	22	80	117	91	61	54	27	17	15	5	1	0	490	26	85	126	68	77	36	98	95	19	3	2	3	638	14	61	86	89	114	73	167	133	22	2	3	6	770	22	39	46	72	78	61	68	74	14	0	0	0	474	25	41	46	65	40	217								
奈良	1	3	5	5	9	6	0	0	3	1	0	0	33	0	0	1	6	0	0	1	2	0	0	0	10	1	0	10	11	24	8	3	6	2	0	0	3	68	0	5	2	19	6	5	10	5	0	1	0	0	53	0	2	1	4	5	12									
和歌																																																																		

